

〈取扱説明書〉

昭和卅四年神宮館電脳九景

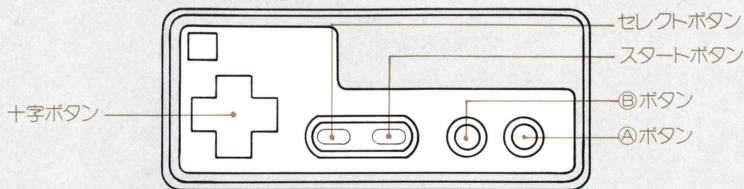
高島易断所本部編纂

東京神宮館藏版



<コントローラー各部の名称と操作の説明>

A、生年月日インプットするとき



十字ボタン…下の段のカーソル移動

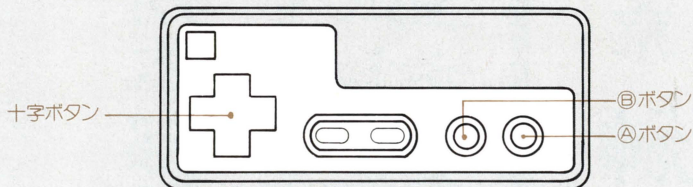
Aボタン…選択決定

Bボタン…キャンセル

セレクトボタン…上の段のカーソル1文字キャンセル

スタートボタン…実行(最初のタイトル画面のとき2度押しすとプロローグはとばします)

B、メニュー選択のとき



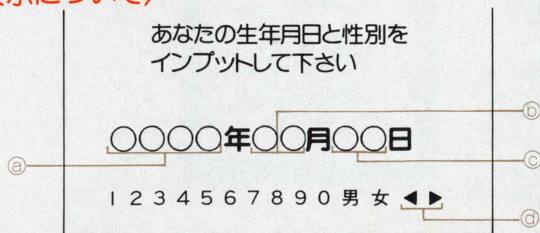
十字ボタン…項目の選択

Aボタン…選択決定

Bボタン…前の画面にもどる

※なお日運の解説画面のとき十字ボタン(左右)で、前後の日付の運勢を見ることができます。

<画面の表示について>



a 1900～1999年までです。

b カーソルが〇〇月の位置のとき、2以上の数字を選択すると、自動的に2月～としてインプットされます。

c カーソルが〇〇日の位置のとき、4以上の数字を選択すると、自動的に4日～としてインプットされます。

d 上段のカーソルを移動

☞ 使用上の注意等は表3をご覧ください。

昭和六十四年略曆

⊙ 三平一 辰 四一 辛卯 六二 辰 九一 甲子 十二 五 三伏 末 中伏 初伏 七月九日 八月八日	民俗行事 初日 元旦 二月三日 三日 三月八日 四月一日 五月五日 七月七日 九月十日 十月十日			西紀千九百八十九年 二月廿日 三月廿日 四月廿日 五月廿日 六月廿日 七月廿日 八月廿日 九月廿日 十月廿日			国民の祝日 成人の日 一月一日 建国記念の日 二月十五日 春分の日 三月廿一日 天皇誕生日 四月廿九日 憲法記念日 五月三日 こどもの日 五月五日 敬老の日 九月三日 秋分の日 九月廿三日 体育の日 十月十日 文化の日 十月十五日 勤労感謝の日 十月廿三日			⊕ 辛酉 三 庚申 五 辛酉 七 壬戌 八 癸酉 十 甲午 十二 乙未 三 四節 氣 節 日
	八せん 二月廿日 三月廿日 四月廿日 五月廿日 六月廿日 七月廿日 八月廿日 九月廿日 十月廿日	甲子 一月四日 三月五日 五月四日 七月三日 九月一日 十月卅日 十月卅日	庚申 三月一日 四月卅日 六月廿九日 八月廿八日 十月廿七日 十二月廿六日 二月廿五日	己巳 一月九日 三月十日 五月九日 七月八日 九月六日 十一月五日 二月廿四日	乙未 一月九日 三月十日 五月九日 七月八日 九月六日 十一月五日 二月廿四日	日曜表 一月 廿四日 二月 廿五日 三月 廿六日 四月 廿七日 五月 廿八日 六月 廿九日 七月 三十日 八月 三十一日 九月 三十一日 十月 三十一日 十一月 三十日 十二月 三十一日				

1989年

太歳神

巳の方

太歳神は木星の精で万物を司る神。この方位に対しての伐木、談判等には凶神となり、移転、造作などにも凶

大將軍

卯の方

この方位は俗に三年ふさがりといひ嫁婿取り、伐木、普請、造作、移転など凶。特に旅行には警戒を要する

太陰神

卯の方

太歳神の後(さき)とされている凶神でその年の陰事を司り、この方位に向かつてのお産は忌むべきである

歳刑神

申の方

この凶神は水星の精で刑罰を司り殺伐の気があり、この方位に向かつての種まき始め、動土、伐木などは凶



歳徳神

甲の方

歳徳神の方位は一か年の吉方で万事に用いて大吉である初詣でをこの方にするば家業繁盛の基となる

あきの方

歳破神

亥の方

この神の巡行する方位は、太歳神と向かい合う方位になるので、移転、旅行、普請動土などには凶方となる

歳殺神

辰の方

金星の精で殺氣はげしく、この方位に対しての嫁婿取り、旅行、移転、金策などには凶兆ありとされている

黄幡神

丑の方

日月の光を食する羅睺星の精といわれる。従つてこの方位に対しての普請動土始めなどには凶とされている

豹尾神

未の方

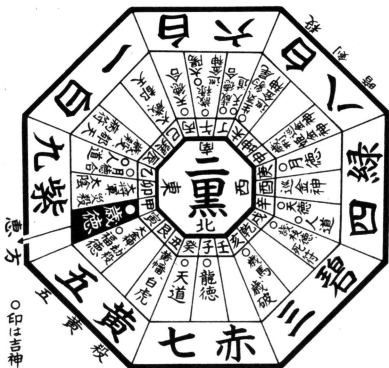
忿怒の相をそなえている計都星の精といわれ、この方位から牛馬その他畜類を求めることは凶とされている

方位吉凶図

昭和六十四年己巳二黒

昭和六十四年各人の吉方位

- 一白水星の人 壬子癸 丙午丁 庚酉辛
- 二黒土星の人 壬子癸 甲卯乙 丙午丁
- 三碧木星の人 甲卯乙 庚酉辛
- 四緑木星の人 辰巽巳 戊乾
- 五黄土星の人 壬子癸 甲卯乙 丙午丁
- 六白金星の人 辰巽巳
- 七赤金星の人 辰巽巳
- 八白土星の人 壬子癸 甲卯乙 丙午丁
- 九紫火星の人 戊乾



金神の方位

この方位は普請、動土、移転、伐木などには凶ですが、九紫が巡るか、天道、天徳、月徳の吉神が巡行している月、また巡金神遊行日の間は差支えない。

巡金神遊行日

○二月立春より四月春の土用入り前日までは甲寅日より戊午日までの五日間南方に遊行する○五月立夏より七月夏南方に遊行する○五月間西方に遊行する○八月立秋より十月秋の土用入り前日までは庚寅日より甲午日までの五日間北方に遊行する○十一月立冬より翌年一月冬の土用入り前日までは壬寅日より丙午日までの五日間東方に遊行する○四季共に土用中は戊寅日より壬午日までの五日間丑・辰・未・戌方に遊行する



土公神

土公神は土の守護神ですから、土公神が座する方位の土を犯すことは、忌み慎むべきこととされている。なお、家にあつては春・夏・秋・冬の四季により左のようにその司る場所を異にしており、土公神在位期間中に各々の場所を犯すと障りがあるとされる。

- 春は籠 従つてかまどの築造、改造などは忌み避けるがよい。
- 夏は門 従つて門戸の新築、改造などは忌み避けるほうがよい。
- 秋は井 従つて井戸掘り、井戸さらいなどは避けるほうがよい。
- 冬は庭 従つて庭造り、動土、樹木の植え替えは避けるがよい。

大金神寅の方
 姫金神申の方
 巡金神申酉の方

六輝の吉凶

- 先勝 急用や訴訟などに用いて吉の日。但し午後には凶。旧暦一月朔日、七月朔日に配される
- 友引 この日は正午のみ凶。朝夕は祝い事に用いて吉。旧暦二月朔日、八月朔日に配される
- 先負 この日は諸事控え目に静観がよい。午後は大吉。旧暦三月朔日、九月朔日に配される
- 仏滅 この日は何事をするのも忌み慎むほうがよい。旧暦四月朔日、十月朔日に配される
- 大安 この日は陰陽道で何事をするのにも上吉の日。旧暦五月朔日、十一月朔日に配される
- 赤口 新規事開始その他何事をなすのも忌むべき日。旧暦六月朔日、十二月朔日に配される

中段の吉凶

- たつ よろず大吉の日。但し動土、蔵開きなど凶
 - のぞく 百凶を除く日。医薬ごと、種まき始めなど吉
 - みつ 万象万物満溢の日。祝い事、建築、移転等吉
 - たいら 婚姻等の祝い事、相談事、柱立てなどに吉
 - さだん 建築、移転、新規事開始、婚姻、種まきなどに吉
 - とる 買入れ、取入れなど、よろず入手するに吉
 - やぶる 契約事、相談、物事の取り決めなどには凶
 - あやぶ 新規事の開始に吉。但し訴訟、談判など凶
 - おさん 五穀収納、商品買入れなど吉、縁談ごと凶
 - ひらく 建築、移転、開店、婚姻など喜びごとに吉
 - とづ 建墓など吉。棟上げ、婚礼、開店などは凶
- 注・暦の中段は、十二直ともいわれている

二十八宿の吉凶

かく	こう	てい	ぼう	しん	び	箕	斗	ぎゆう	じょ	きよ	き	危	室	へ
柱立て、普請造作、嫁婿取りに吉	牛馬を取り、こと及び婚姻に吉	嫁婿取り、普請によく、葬儀に凶	家宅の修繕、土地開拓始めに吉	移転、旅行、新事業の開始に吉	新規事業開始、倉庫、納屋の建築に吉	井戸替え及び新規に掘り始めるに吉	土地の掘り起こし、また倉庫建築に吉	移転、旅行及び金銭等すべてに吉	芸事の学び始め、おひろめなどに吉	衣服の着初め、学問始めなどに吉	船の修繕、家宅の修理をする等に吉	普請造作、井戸掘り、婚姻などに吉	旅行、婚姻、新規事業開始などに吉	
けい	ろう	い	ぼう	ひつ	し	しん	せい	き	りゅう	せい	せい	ちよう	よく	しん
奎	婁	胃	昂	畢	觜	参	井	鬼	柳	星	張	翼	軫	軫
開店、文芸開始、樹木植え替え等に吉	普請造作及び急ぐことよろし	開店、移転、求職などに用いて吉	神社仏閣に参詣してご利益ある日	普請開始、土地開拓、練談などに吉	よろづ修め始め、普請始めなどに吉	金銭、練談、旅行に用いて吉	開店、おひろめ、井戸掘りなどに吉	婚礼には凶、他の事にはすべて吉	店舗改造及び庭の造り替えなどに吉	便所の改造、医業を求めるとに吉	婚礼、神仏参詣、職などに大吉の日	家屋増築、田畑耕作始めなどに吉	分家、養子迎え、隠居するなどに大吉	

選日の説明

●一粒万倍日(いちりゅうまんばいび)
一粒の種が万倍にふえる日とされ、古来から事始めに用いられ、特に商売始め、開店などに吉日とされています。反面、ふえて多くなる意味から、人から物を借りたり借金する日には不向きの日です。

●不成就日(ふじょうじゅび)
障りがあつて物事が成就せず、悪結果を招く凶日とされています。特に結婚、開店、柱立て、命名、移転、契約ごとなどには不向きで、この日に急に何事かを思い立ったり、願いごとをすることすらも避けるべきだとされています。

●八専(はっせん)
八専とは陰暦壬子の日から癸亥の日までの十二日間のうち、壬子、甲寅、乙卯、丁巳、己未、庚申、辛酉、癸亥の八日のことで、一年に六回あります。この日は法事・供養などの仏事、破懐的な造作、嫁取りなどには凶日とされています。

●三隣亡(さんりんぼう)
昔から普請始め、柱立て、棟上げなどには大凶とされ、もしもこの日を用いて施行した家屋が後日災禍が起きると、近所隣りをも亡ぼすとされています。

●天一上(てんいちてんじょう)
天一上とは、人事の吉凶禍福を司る天一神が天上する日です。天一神は癸巳の日に天上するので、この日から戊申の日までの十六日間は、天一神の障りはないとされています。

●天赦日(てんしやび)
天赦日(てんしやび)は、干支相生・相剋の中庸を得る大吉日とされ、天の恩恵により何の障害も起さない日とされ、とくに結婚、開店、事業創立、拡張などに用いて最良の日とされています。

●土用(どよう)
一年の春・夏・秋・冬にそれぞれの四季の土用があり、その期間は約十八日九日です。この期間中は、とくに動土、土木工事に着手することは大凶とされています。ただし土用中でも間日(まび)は障りがなく、春は巳、午、酉の日。夏は卯、辰、申の日。秋は未、酉、亥の日。冬は卯、巳、寅の日が間日となります。

●十方暮(じゅうぽうぐれ)
干支相剋の凶日(ただし相剋しない日も含む)で、甲申の日から入つて癸巳の日の少ない日とされ、新規事の開始や旅立ちなどにも凶の日とされています。

男女相性の見方・考え方

男女の相性は、九星の五行の相性、相剋を基に吉・凶の關係が現われます。

即ち木・火・土・金・水の五行の隣り合った關係が吉であります。しかし、十二支にも吉・凶の關係があります。これは五行の相性・相剋の關係と多少異なっています。それぞれ根拠のあることで、軽視はできません。

九星から見ても、十二支から見ても相性であれば申し分ありませんが、九星で相性し十二支で相剋の場合やその逆の場合には無条件の相性と見られません。

この他に十干の意も無視できませんので、九星・十二支を以て一応の規準と考え、一生の禍福を定める結婚などは専門家の鑑定にまっすべきです。

十二支による男女相性

△印は小吉

- 子年生 申・辰・丑年の人が相性吉
- 丑年生 巳・酉・子年の人が相性吉
- 寅年生 午・戌・△亥年の人が相性吉
- 卯年生 亥・未・戌年の人が相性吉
- 辰年生 申・子・酉年の人が相性吉
- 巳年生 酉・丑年の人が相性吉
- 午年生 寅・戌・未年の人が相性吉

九星による男女の相性

- 未年生 亥・卯・午年の人が相性吉
- 申年生 子・辰年の人が相性吉
- 酉年生 巳・丑・辰年の人が相性吉
- 戌年生 寅・午・卯年の人が相性吉
- 亥年生 卯・未・△寅年の人が相性吉

一白生	六白、七赤、三碧、四緑、一白の人が吉
二黒生	九紫、六白、七赤、五黄、八白、二黒の人が吉
三碧生	一白、九紫、四緑、三碧の人が吉
四緑生	一白、九紫、三碧、四緑の人が吉
五黄生	九紫、六白、七赤、二黒、八白、五黄の人が吉
六白生	二黒、五黄、八白、一白、七赤、六白の人が吉
七赤生	二黒、五黄、八白、一白、六白、七赤の人が吉
八白生	九紫、七赤、六白、二黒、五黄、八白の人が吉
九紫生	四緑、三碧、二黒、五黄、八白、九紫の人が吉

見合・結納の吉日

古めかしく縁起をかつぐわけではありませんが、お見合い、結納の日取りについては、やはり暦上の吉日を基にして、先方の家風も十分に考慮のうえ、お互い（両家）にとってのよりよい日を選ぶべきです。一般的なしきたりでは、暦上の、なる、みつ、おさんの日や、大安、友引の日がよいとされています。

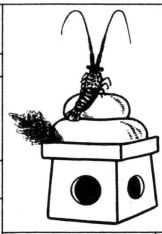
婚礼の吉日

婚礼の日取りは、本来は嫁ぐ人にとつて稼ぎ先の家の方角が吉方となる年・月・日を、気学及び九星術にもとづいて選ぶことが大切です。しかし世間一般的には暦上の、なる、たいら、たつ、さだん、または大安日選ばれています。

妊娠腹帯の吉日

妊娠腹帯(宮田帯)に良い日は、一般に犬の安産にあやかつて戌(いぬ)の日がよいとされていますが、古文書による吉日は、甲子日、甲戌日、乙丑日、丙午日、丙戌日、戊戌日、庚戌日、庚子日、辛酉日、あるいは暦の中段の、なる、みつ、たつの日を良しとしています。

一月



家事

〔上旬〕 神仏詣り・年始回り。日記・家計簿づけの実践励行。正月団らん。来客接待〔中旬〕 年賀状整理と後始末の整備。本年の家計立案。正月用品の仕立。正月着の入れ。室内換気の注意。水道管の凍結防止〔下旬〕 台所整理。寒げいこ。寒詣り

農事

〔上旬〕 本年の経営計画樹立と栽培設計の立案。畜舎の防寒設備・雪害対策。下草刈り〔中旬〕 乾田耕起・床土準備。草木灰製造。麦の中耕・追肥・踏庄・こうぞの刈取り・皮はき。甘藷切干し・米・こうじ・薪作り〔下旬〕 水田苗代耕起。温床の踏み込み

一月大睦月

宿房

一月五日小寒の節より月命乙丑三碧木星の月となる。暗剣殺東の方

一日 日出 六時五十分 旧十一月大
日入 一六時三十分 旧十二月小

一日	日	かのと	三碧	修正会 年賀、初詣、歳日祭、旧正月大	振替休日、初荷、初夢	二日月	みづのえいぬ	二黒	振替休日、皇居一般参賀	二日月	みづのえいぬ	二黒	福岡宮崎宮玉せり、初亥、八せん終り、一粒万倍日	二日月	みづのえいぬ	二黒	官庁御用始め、九星陽通始め、初子、甲子、天しや、一粒万倍日	二日月	みづのえいぬ	二黒	小寒、初水天宮	二日月	みづのえいぬ	二黒	六日年越し、公現祭、東京消防出初式、初寅、不成就日	二日月	みづのえいぬ	二黒	七草、八日、太幸府天満宮鬼すべ、うそ替え、初卯、一粒万倍日	二日月	みづのえいぬ	二黒	初業師 東京鳥越神社とんとん焼、旧十二月小	二日月	みづのえいぬ	二黒	九日月	つちのと	み	六六	宵えびす、学校始業、東京西本願寺報恩講(16日始業)、初己、己巳	二日月	みづのえいぬ	二黒	十日	火	か	え	う	ま	初金毘羅、大つち、三りんぼう	二日月	みづのえいぬ	二黒	十一日	水	か	の	つ	じ	鏡開き、蔵開き	二日月	みづのえいぬ	二黒	十二日	木	み	づ	の	え	い	ぬ	九紫	不成就日	二日月	みづのえいぬ	二黒	十三日	金	み	づ	の	え	い	ぬ	二黒	不成就日	二日月	みづのえいぬ	二黒	十四日	土	き	の	え	い	ぬ	二黒	上弦、十四日年越し、四天王寺とやどや、仙台とんとん祭、慈覚大師忌	二日月	みづのえいぬ	二黒	十五日	日	き	の	え	い	ぬ	二黒	成人の日、小正月、小豆がゆ、奈良若草山焼き	二日月	みづのえいぬ	二黒	16	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	初望、黙阿弥忌、三りんぼう	二日月	みづのえいぬ	二黒	17	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	初地蔵、東京巢鴨とげぬき地蔵尊大祭、十方ぐれ入り	二日月	みづのえいぬ	二黒	18	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	初天神、東京亀戸天神うそ替え、法然上人忌	二日月	みづのえいぬ	二黒	19	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	文化財防火デー、道元禅師誕生会、天理教春季大祭	二日月	みづのえいぬ	二黒	20	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	国旗制定記念日、小田原道了尊大祭	二日月	みづのえいぬ	二黒	21	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	初不動、一粒万倍日	二日月	みづのえいぬ	二黒	22	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	不成就日	二日月	みづのえいぬ	二黒	23	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	初下弦	二日月	みづのえいぬ	二黒	24	日	か	の	え	い	ぬ	二黒	一粒万倍日	二日月	みづのえいぬ	二黒
----	---	-----	----	-----------------------	------------	-----	--------	----	-------------	-----	--------	----	-------------------------	-----	--------	----	-------------------------------	-----	--------	----	---------	-----	--------	----	---------------------------	-----	--------	----	-------------------------------	-----	--------	----	--------------------------	-----	--------	----	-----	------	---	----	----------------------------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	----------------	-----	--------	----	-----	---	---	---	---	---	---------	-----	--------	----	-----	---	---	---	---	---	---	---	----	------	-----	--------	----	-----	---	---	---	---	---	---	---	----	------	-----	--------	----	-----	---	---	---	---	---	---	----	----------------------------------	-----	--------	----	-----	---	---	---	---	---	---	----	-----------------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	---------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	--------------------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	----------------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	-------------------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	------------------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	-----------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	------	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	-----	-----	--------	----	----	---	---	---	---	---	---	----	-------	-----	--------	----



二月平

如月 心宿

(二月四日立春の節より月命丙寅二) 一日 日出 六時四一分 旧 十二月小
 (黒土星の月となる。暗剣殺西南方)

一日 日入 一七時〇八分 旧 正月大

家事

(上旬) 節分の準備・豆まき。押入れ・物置の整理整頓。寒中見舞い。ガスもれ・火の用心
 (中旬) 青色申告書作成の準備。皮革製品の手入れ。好天気時の毛布・ふとん干し
 (下旬) ひな祭りの用意。お年寄り・幼児の健康注意。余寒見舞い。地域防火演習に参加

農事

(上旬) 俵・かますなど包装材料の用意。田のあぜ・水路の修理・床締め。なす・とうがらしの温床播種。わら加工。甘藍の植付け
 (中旬) 麦の中耕・追肥。えん豆支柱立て
 (下旬) トマト・きゅうりの温床播種。麦の土入れ・踏庄。田あぜの雑草焼却。京菜収穫

一日	水	みづのえ	たつ二黒	永平寺涅槃会撰心、良忍上人忌	旧十二月小	旧25	赤口	たいら某	十六日	木	ひのと	つじ	八白	日蓮聖人誕生会、不成就日	旧11	大安	とる	井		
二日	木	みづのと	み三碧	天一 天上	旧26	光勝	さだん斗	十七日	金	つちのえ	さる	九紫	伊勢神宮祈年祭、八戸えんぶり	旧12	赤口	やぶる	鬼			
三日	金	きのえ	うま四緑	節分、豆まき、初午、春日、大社万灯籠、伏見稲荷初午祭、三りんぼう	旧27	友引	とる	十八日	土	つちのど	り	一白	岡山西大寺会陽裸祭	旧13	先勝	あやぶ	柳			
四日	土	きのと	つじ五黄	立春	旧28	光負	とる	十九日	日	か	え	いぬ二黒	雨水、万国郵便連合加盟記念日、旧小正月、水戸梅まつり、鳴雪忌、三りんぼう	旧14	友引	なる	星			
五日	日	きのえ	さる六白	尾鷲まつり	旧29	佛滅	やぶる	廿一日	月	か	の	る三碧	○望、八せん始め	旧15	先負	おん	張			
六日	月	ひのと	ど七赤	●朔、旧元旦、出雲大社福神祭、新宮神倉山火祭、旧己巳正月大	旧30	朔	光勝	あやぶ	廿二日	火	か	の	る	旧16	佛滅	ひつ	翼			
七日	火	つちのえ	いぬ八白	北方領土の日	旧1	友引	なる	廿三日	水	み	の	え	いぬ五黄	旧17	大安	とる	軫			
八日	水	つちのと	る九紫	こと始め、針供養、三りんぼう、不成就日	旧2	光負	おん	廿四日	木	き	の	え	とら六白	旧18	赤口	たつ	角			
九日	木	かのえ	ね一白		旧3	佛滅	ひつ	廿五日	金	き	の	う七赤	不成就日	旧19	先勝	のぞ	亢			
十日	金	かのど	うし二黒	加賀普生石部祭、福島羽黒山	旧4	大安	とる	廿六日	土	ひ	の	え	たう八白	旧20	友引	みつ	氐			
十一日	土	みづのえ	とら三碧	晩詣り一粒万倍日、建国記念の日、奈良権原祭	旧5	赤口	たつ	廿七日	日	ひ	の	え	たう九紫	旧21	先負	たい	房			
十二日	日	みづのと	う四緑	旧七草	旧6	光勝	のぞ	廿八日	月	つ	ち	の	え	う	一白	三の午、一粒万倍日	旧22	佛滅	さだ	心
十三日	月	きのえ	たつ五黄	●上弦、松山椿まつり	旧7	友引	みつ	廿九日	火	つ	ち	の	え	う	二黒	全国火災予防運動	旧23	大安	とる	尾
十四日	火	きのと	み六白	聖良長谷寺だだ押し、デー、聖良長谷寺だだ押し、デー、ねはん会、横手かまくら、二の午、一粒万倍日	旧8	光負	たい	三十日	水	つ	ち	の	え	う	三赤	不成就日	旧24	佛滅	さだ	心
十五日	水	ひのえ	う七赤		旧9	佛滅	さだ	三十一日	木	つ	ち	の	え	う	四黒	不成就日	旧25	佛滅	さだ	心



四月

家事

〔上旬〕 日増しの春暖に気もゆるみがち。空
き巢の用心(嚴重な戸締まり勵行)。花冷え時
の健康注意。ジュウタン類の手入れ・整理。
〔中旬〕 ゴールデンウィークの活用計画。冬
着・家具・ふとんの始末。窓ガラス清掃
〔下旬〕 端午節句の用意。庭木の手入れ消毒

農事

〔上旬〕 西瓜・かぼちゃ・鞍築き。冬ねぎ・唐
もろこし播種。春うど収穫。苗代の準備
〔中旬〕 トマト・なす・鞍築き。みのおせ大根
播種。麦土入れ。里芋植付け。馬鈴薯中耕
〔下旬〕 甘藷鞍築き。かぼちゃ・トマト
ゆうり植付け。小かぶ収穫。馬の種子付け

四月小

卯うづき 月 宿 箕

〔四月五日清明の節より月命戌辰九
紫火星の月となる。暗剣殺南の方〕

一日 日出 五時二八分 旧 二月小
日入 一八時〇二分 三月小

一日	土	かのと	う七赤	新学年、新財政年度、エープリル・フール、親類聖人誕生会	旧2月小	友引たつ女	十六日	日ひのえうま	四緑	三りんぼう	旧11	先勝みつ星
二日	日	みつのえたう	八白	佐原香取神宮御田植祭 不成就日	旧25	先負のぞく	十七日	月ひのえうま	五黄	土用、科学技術週間	旧11	先勝みつ星
三日	月	みとのと	み九紫	日光輪王寺強飯式 不成就日	旧25	先負のぞく	十八日	火つちのえさる	六白	発明の日、天理教教祖誕生会	旧11	先勝みつ星
四日	火	きのえうま	一白	奈良電田大社祭、岡山金光教 春季大祭、旧三の午	旧25	佛滅みつ危	十九日	水つちのえさる	七赤	京都松尾大社中西大祭	旧11	先勝みつ星
五日	水	きのとじつ	二黒	清明、岐阜伊奈波祭、神道修成派大祭	旧25	赤口たいら壁	廿日	水かのえいぬ	八白	京都松尾大社中西大祭	旧11	先勝みつ星
六日	木	ひのえさる	三碧	●朔、春の全国交通安全運動、不成就日	旧25	先負さだん奎	廿一日	金かのと	九紫	○望、豊川壬生狂言祭	旧11	先勝みつ星
七日	金	ひのとり	四緑	世界保健デー、世界上人誕生会	旧25	佛滅とる妻	廿二日	土みつのえいぬ	一白	靖国神社春祭、水沢日高火防祭	旧11	先勝みつ星
八日	土	つちのえいぬ	五黄	灌仏会、花まつり、旧ひな祭	旧25	大安やぶる胃	廿三日	日みつのえいぬ	二黒	八せん始め一粒万倍日、不成就日	旧11	先勝みつ星
九日	日	つちのと	六白	京都今宮神社やすらい祭、笠間稲荷春季例大祭	旧25	赤口あぶる昂	廿四日	月きのえいぬ	三碧	京都伏見稲荷大社神幸祭、京都松尾大社神幸祭	旧11	先勝みつ星
十日	月	かのえ	七赤	●朔、春の全国交通安全運動、不成就日	旧25	先勝なる畢	廿五日	火きのえいぬ	四緑	奈良興福寺文珠会、本派浄土宗	旧11	先勝みつ星
十一日	火	かのと	八白	メートル法公布記念日	旧25	友引おさん鷲	廿六日	水ひのえいぬ	五黄	奈良興福寺文珠会、本派浄土宗	旧11	先勝みつ星
十二日	水	みつのえら	九紫	世界宇宙飛行の日	旧25	先負ひつく	廿七日	日みつのえいぬ	六白	和歌山川辺道成寺鐘供養、長崎港まつり	旧11	先勝みつ星
十三日	木	みつのと	一白	○上弦、京都嵯峨虚空蔵十三詣り一粒万倍日	旧25	佛滅とつ井	廿八日	金つちのえうま	七赤	川崎身代り不動虫封じ、日蓮宗開宗会、三りんぼう	旧11	先勝みつ星
十四日	金	きのえたう	二黒	大成就日	旧25	大安たつ魁	廿九日	土つちのえうま	八白	○天皇誕生日、下弦、米沢上杉まつり	旧11	先勝みつ星
十五日	土	きのと	三碧	高山山王祭、長浜曳山祭	旧25	赤口のぞく柳	卅日	日かのえさる	九紫	庚申、不成就日	旧11	先勝みつ星

○四月の行事

お子さまの将来に貯蓄の花束を贈りましょう

思わぬ災害、役立つ貯蓄

五月大 五月五日立夏の節より月命己巳八 一日 日出 四時五〇分 旧 三月小 斗 宿 (白土星の月となる。暗剣殺東北方) 一日 日入 一八時二七分 四月大

五月



家事

〔上旬〕 ムダを慎み健全家計の確立。法定伝染病の予防接種。家屋内外の大掃除・殺虫剤散布(トイレ、浴場、下水・ゴミ集積所) (中旬) 梅雨期に備えて洗濯物の整理。貴重品・重要書類等の総点検。防災用品の整備 (下旬) 廃品処分。家族の健康増進に留意

農事

〔上旬〕 水稻播種。西瓜・まくわうり・なす 植付け。えん豆・ふき収穫。春蚕の掃立 (中旬) 陸稻・落花生播種。きゅうり・そら豆・甘藷・いちご・茶の収穫。麦・馬鈴薯散葉 (下旬) 本田耕起。こま・秋大豆播種。根深ねぎ・甘藷植付け。えん豆・玉ねぎ収穫

十五日	月	きのと	ろ	六白	大沖繩本土復讐記念日、京都葵祭、三りんぼう		
十四日	日	きのえ	い	五黄	奈良当麻寺会式、七尾青柏祭		
十三日	土	みづのど	り	四緑			
十二日	金	みづのえ	る	三碧	●上弦、旧灌仏会		
十一日	木	かのど	い	二黒	長良川鶴岡開き、奈良興福寺新能		
十日	水	か	え	う	ま 愛鳥週間、大つち		
九日	火	つちのど	み	九紫	己巳		
八日	月	つちのえ	た	う	八白 世界赤十字デー、一粒万倍日、不成就日		
七日	日	ひのど	う	七赤	東京下谷神社祭、一粒万倍日		
六日	土	ひ	え	と	ろ六白		
五日	金	きのと	う	し	五黄 兒童福祉週間、府中時間祭、旧四月大		
四日	木	きのえ	わ	四緑	休日、甲子、一粒万倍日		
三日	水	みづのど	る	三碧	●憲法記念日、博多どんたく、京都伏見稲荷還幸祭、八せん終り		
二日	火	みづのえ	い	ぬ	二黒 富山高岡関野祭、器市、旧三月小		
一日	月	かのど	と	り	一白 八十八夜、奈良東大寺聖武祭		
27	佛滅	なる	危	26	佛滅	なる	危
28	赤口	あやぶ	登	29	先勝	なる	奎
29	先勝	なる	奎	朔	佛滅	なる	暮
2	大安	おさん	胃	3	赤口	ひつ	昂
3	赤口	ひつ	昂	4	先勝	と	胃
4	先勝	と	胃	5	支引	た	つ
5	支引	た	つ	6	先負	の	ぞ
6	先負	の	ぞ	7	佛滅	み	つ
7	佛滅	み	つ	8	大安	た	い
8	大安	た	い	9	赤口	さ	だ
9	赤口	さ	だ	10	先勝	と	る
10	先勝	と	る	11	支引	や	ぶ
11	支引	や	ぶ	世	日	水	か
12	佛滅	なる	危	世	日	火	か
13	佛滅	なる	危	世	日	水	か
14	大安	おさん	角	世	日	火	か
15	赤口	ひつ	元	世	日	水	か
16	先勝	と	心	世	日	火	か
17	支引	た	心	世	日	水	か
18	先負	の	心	世	日	火	か
19	佛滅	み	心	世	日	水	か
20	大安	た	心	世	日	火	か
21	赤口	さ	心	世	日	水	か
22	先勝	と	心	世	日	火	か
23	支引	や	心	世	日	水	か
24	先負	あ	心	世	日	火	か
25	佛滅	なる	心	世	日	水	か
26	大安	おさん	心	世	日	火	か
27	赤口	ひつ	心	世	日	水	か

六月



六月小

水無月 宿
 (六月六日芒種の節より月命庚午七赤金星の月となる。暗剣殺西の方)

一日 日出 四時二七分 旧 四月大

家事

(上旬) 制服の衣替え。春着の手入れ収納。
 雨具そろえ。食衛生と食品腐敗の注意。
 (中旬) 晴れ間を見てのふとん干し。雨具・皮革製品の手入れ。救急箱の完備。食器類の煮沸消毒。網戸・冷房器具の取付け。
 (下旬) 中元の計画。七夕祭りの準備

農事

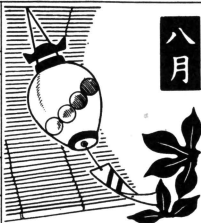
(上旬) 苗代除草。陸稲中耕・除草。大麦・馬鈴薯・きゅうり・なす・玉ねぎ・甘藍収穫。
 (中旬) 田植え。小麦・馬鈴薯・きゅうり・なす収穫。トマト・なす散葉。夏蚕の掃立て。
 (下旬) 畑除草。きゅうり・かぼちゃ・なす・トマト・みのおせ大根収穫。畜舎防暑設備

一日	木	みづのえ	たつ	五黄	一粒万倍日、電波の日、相模川他結解禁、不成就日、 旧四月大、旧28	先勝とつ	妻	十六日	金	ひのえ	つじ	二黒	柏崎えんま市、不成就日
二日	金	みづのと	み	六白	横浜開港記念日、天一天上	先負	たつ	十七日	土	つちのえ	さる	三碧	伊勢神宮月次祭、興教大師誕 生会、奈良率川百合祭
三日	土	きのえ	うま	七赤	天しや	先負	のぞ	十八日	日	つのと	どり	四緑	父の日、海外移住の日
四日	日	きのと	つじ	八白	朔 ●朔、齒の衛生週間、伝教大師忌、 潮来慈母観音大法要、旧五月小	大安	みつ	十九日	月	かのえ	いぬ	五黄	○望、桜桃忌
五日	月	ひのえ	さる	九紫	世界環境デー、環境週間、 名古屋熱田祭	赤口	たいら	廿一日	火	かのと	る	六白	京都鞍馬寺竹伐り会式
六日	火	ひのと	どり	一白	芒種、邦楽の日	先勝	たいら	廿二日	水	みづのえ	ね	七赤	夏至、八せん始め
七日	水	つちのえ	いぬ	二黒	計量記念日	先勝	たいら	廿三日	木	みづのと	し	八白	
八日	木	つちのと	る	三碧	旧端午、不成就日	先負	とる	廿四日	金	きのえ	とら	九紫	オリンピックデー、 沖繩慰霊の日、三りんぼう
九日	金	かのえ	ね	四緑	東京浅草鳥越神社例大祭	佛滅	やぶる	廿五日	土	きのと	う	一白	東京芝愛宕千日詣り、 清正公忌、不成就日
十日	土	かのと	うし	五黄	時の記念日、広島とうか祭	大安	あやぶ	廿六日	日	ひのえ	たつ	二黒	
十一日	日	みづのえ	とら	六白	入梅、●上弦、三りんぼう	赤口	なる	廿七日	月	ひのと	み	三碧	●下弦、国連憲章調印記念日、 一粒万倍日
十二日	月	みづのと	う	七赤		先勝	おさん	廿八日	火	つちのえ	ま	四緑	貿易記念日
十三日	火	きのえ	たつ	八白		先負	ひつ	廿九日	水	つちのえ	さる	五黄	庚申
十四日	水	きのと	み	九紫	大阪住吉田植祭、金沢加賀百 万石祭、一粒万倍日	先負	とつ	三十日	木	かのえ	さる	六白	大はらい、夏越祭
十五日	木	ひのえ	うま	一白	東京日枝神社山王祭、北海道神宮祭、 弘法大師誕生会、一粒万倍日	佛滅	たつ	廿一日	金	かのと	どり	七赤	

○六月の行事

家計簿をつけて伸ばそうわが家の貯蓄

八月



八月大

葉月宿

八月七日立秋の節より月命壬申五
黃土星の月となる。暗剣殺なし

一日

日出 四時四九分
日入 一八時四六分

旧七月大
八月小

家事

(上旬) 涼しい住まいの工夫。夜ふかしを慎み早起き励行。地域ぐるみの防犯対策。冷蔵食品の点検・室内冷房の調節。節水の励行
(中旬) 寝具・敷物類の日光清毒。日射病の予防。子どもの宿題整理。残暑見舞い
(下旬) 新学期準備。入念な台風対策

農事

(上旬) 冬ねぎ・春まき根深ねぎ植付け。水田中耕・除草・唐もろこし・里芋・西瓜・トマト・なす・夏甘藍収穫。秋蚕の掃立て
(中旬) 結球白菜練床播種。水稻灌溉。まくわうり・西瓜・きゅうり収穫。煮食大根播種
(下旬) 西藍植付け。きゅうり・唐辛子収穫

十五日	火	ひのど(つし)	二黒	八幡宮祭	月遅ればん、終戦記念日、東京富岡八幡宮祭、奈良春日大社万燈籠						
十四日	月	ひのえうま	三碧								
十三日	日	きのと	み四緑		月遅ればん迎え火						
十二日	土	きのえ	たう五黄		徳島阿波踊り(十五日まで)、不成就日						
十一日	金	みつのと	う六白								
十日	木	みつのと	七赤		数方庭祭、京都市清水寺千日詣り、下関总宮上方庭祭、館山安房祭、西鶴忌						
九日	水	かのと	うし八白		宝塚中山寺夏会式、長崎原爆記念日、旧七夕、未伏、一粒万倍日						
八日	火	か	え九紫		木曾御嶽山御神火祭、立秋、東京佃まつり、新潟祭三りんぼう						
七日	月	つちのと	る一白		山形原爆記念日、秋田竿灯、広島花笠祭、桑名石採祭						
六日	日	つちのえ	いぬ二黒		一粒万倍日						
五日	土	ひのど	とり三碧		京都北野天満宮例祭、不成就日						
四日	金	ひのえ	さる四緑		津軽ねぶた祭						
三日	木	きのど	つじ五黄								
二日	水	きのえ	うま六白		八朔、川崎身代り不動土用大護摩、天一天土、不成就日、旧六月大						
一日	火	みつのと	み七赤		三朔、鬼貫忌、八戸三社祭、天しや、三りんぼう、一粒万倍日、旧七月小						
14	友引	とつ尾	廿一日	木	みつのと	四緑	●朔、三りんぼう	旧八月大	朔	友引	たいら井
13	先勝	ひつこ	廿二日	水	みつと	えいぬ	五黄		朔	大安	みつ参
12	赤口	おさん房	廿三日	火	か	のと	六白		朔	佛滅	のそく鬚
11	大安	なる	廿四日	水	か	のえ	さる	七赤	庚申、不成就日	先負	たつ畢
10	佛滅	あやぶ	廿五日	土	つちの	え	さる	七赤		友引	とつ昂
9	先負	やぶる	廿六日	土	つちの	え	さる	七赤		先勝	ひつこ胃
8	友引	とる	廿七日	金	ひの	と	二黒			赤口	おさん妻
7	先勝	さだん	廿八日	木	ひの	え	たう	二黒		大安	なる
6	赤口	たいら	廿九日	水	きの	と	う	三碧		佛滅	あやぶ
5	大安	たいら	三十日	火	きの	え	とら	四緑		先負	やぶる
4	佛滅	みつ	廿一日	月	みつ	と	うし	四緑		友引	とる
3	先負	のそく	廿二日	火	きの	え	とら	四緑		先勝	さだん
2	友引	たつ	廿三日	水	みつ	と	え	六白		赤口	たいら
朔	先勝	とつ	廿四日	木	つち	の	と	り		大安	みつ
15	佛滅	のそく	廿五日	金	か	の	え	いぬ		佛滅	のそく
16	先負	たつ	廿六日	土	つち	の	と	り		先負	たつ
17	大安	みつ	廿七日	日	つち	の	と	り		佛滅	のそく
18	赤口	たいら	廿八日	月	みつ	と	え	六白		先勝	さだん
19	先勝	さだん	廿九日	火	か	の	と	り		赤口	たいら
20	友引	とる	三十日	水	みつ	と	え	六白		大安	みつ
21	先負	やぶる	廿一日	火	か	の	と	り		佛滅	あやぶ
22	佛滅	あやぶ	廿二日	水	みつ	と	え	六白		先負	たつ
23	赤口	おさん	廿三日	火	か	の	と	り		先勝	ひつこ
24	大安	なる	廿四日	木	つち	の	と	り		佛滅	のそく
25	先勝	ひつこ	廿五日	金	か	の	と	り		先負	たつ
26	友引	とつ	廿六日	土	つち	の	と	り		佛滅	あやぶ
27	先負	たつ	廿七日	日	つち	の	と	り		先勝	さだん
28	佛滅	のそく	廿八日	月	みつ	と	え	六白		赤口	たいら
29	大安	みつ	廿九日	火	か	の	と	り		大安	みつ
朔	友引	たいら	三十日	水	みつ	と	え	六白		佛滅	あやぶ

○八月の行事

勤労の汗に貯蓄の穂がみゐる



九月

九月小

ながつき 長月 宿

(九月八日白露の節より月命癸酉四) 一日 日出 五時一三分 旧 八月大 (録木星の月となる。暗剣殺東南方)

一日 日出 五時一三分 旧 八月大 日入 一八時〇九分 九月大

家事

(上旬) 地域的な防災訓練への参加。家庭用消火器の充実。非常用食品その他の点検。(中旬) 夏着・夏家具・夏ふとんの手入れ。西日よけの工夫。障子・ふすま取付け用意。幕参・先祖供養。秋まき草花の播種開始。(下旬) 知人へ音信。秋の衣替えの準備

農事

(上旬) ほうれん草・たくあん大根・秋ねぎ播種。結球白菜種付け。きゅうり・人参収穫。(中旬) 玉ねぎ・甘藍冷床播種。菜種播種。きゅうり・蓮根・くわい収穫。干びよう製造。(下旬) ほうれん草・春ごぼう・根深ねぎ播種。早生稲・粟・大豆・甘藍・唐芋収穫

十五日	金	つちのえとら	七赤	大社秋祭	十三日	水	ひのえ	九紫	世界提灯まつり	十一日	月	きのえ	二黒	二百二十日、東京芝大神宮しよが市	九日	土	みづのえ	四緑	重陽、救急の日、一粒万倍日、不成就日	八日	金	かのえ	五黄	白露、●上弦	七日	木	かのえ	六白	大つち	六日	水	つちのえ	七赤	己巳	五日	火	つちのえ	八白	四日	月	ひのえ	九紫	敦賀氣比神宮祭	三日	日	ひのえ	とら	一白	二日	土	きのえ	二黒	富山八尾風の盆、茨城鹿島神宮祭	一日	金	きのえ	三碧	二百十日、防災の日、震災記念日、二日、癸甲子、一粒万倍日、不成就日、旧八月大																																																				
16	大	安	とる	牛	14	先	負	たいら	某	12	先	勝	のぞ	心	10	大	安	と	ぶ	戌	9	佛	滅	ひ	く	元	8	先	負	ひ	く	角	7	友	引	お	さん	軫	6	先	勝	なる	翼	5	赤	口	あ	ぶ	張	4	大	安	や	ぶ	る	星	3	佛	滅	と	る	柳	2	先	負	さ	だ	ん	鬼	1	十六	日	主	つ	ち	の	と	う	六	白	17	日	か	の	え	た	う	五	黄	18	不	成	就	日	19	先	勝	あ	や	ぶ	る	女	17	旧	赤	口	や	ぶ	る	女
●朔	天	一	天	上	不	成	就	日	旧	九	月	大	25	友	引	み	つ	昴	24	先	勝	の	ぞ	之	胃	23	赤	口	た	つ	妻	22	大	安	と	つ	奎	21	佛	滅	ひ	く	之	壁	20	先	負	お	さん	室	19	友	引	なる	危	18	先	勝	あ	や	ぶ	る	虚	17	旧	赤	口	や	ぶ	る	女																																							
●朔	天	一	天	上	不	成	就	日	旧	九	月	大	26	先	負	たい	ら	畢	25	友	引	み	つ	昴	24	先	勝	の	ぞ	之	胃	23	赤	口	た	つ	妻	22	大	安	と	つ	奎	21	佛	滅	ひ	く	之	壁	20	先	負	お	さん	室	19	友	引	なる	危	18	先	勝	あ	や	ぶ	る	女	17	旧	赤	口	や	ぶ	る	女																																	

十月



十月大

かみなづき
神無月 宿

十月八日寒露の節より月命甲戌三
碧木星の月となる。暗剣殺東の方

一日 日出 五時三十分
日入 一七時二六分
旧 九月大
十月小

家事

〔上旬〕 共同募金に協力。家族そろつての体
力づくり。家屋内外の大掃除。虫干し
〔中旬〕 スポーツ祭典に参加。冬着の用意。
草花球根の花壇植付け。報恩感謝の神仏詣り
〔下旬〕 図書整理と読書の雰囲気づくり。季
節料理の工夫。貴重品類の保管点検

農事

〔上旬〕 京菜冷床播種。いちご植付け。水稲
落水。甘藷・唐芋・ほうれん草・落花生収穫
〔中旬〕 小麦・えん豆・小松菜・甘藷播種。
中生稲・落花生・甘藷・唐芋収穫
〔下旬〕 大麦・ほうれん草播種。甘藷・ほう
れん草・唐芋・根深ねぎ収穫。羊の種子付け

一日	日	きのえ	うま	九紫	労働衛生週間、共同募金、都民の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁、旧九月大	16	赤口	ひつこ	虚	廿一日	火	きのえ	わ	六白	愛媛新居浜太鼓まつり、一粒万倍日、日光東照宮秋祭、伊勢神宮神嘗祭、統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養、東京日本橋べつたら市、京都建勲神社舟岡祭、八せん始め、土用、えびす講、誓文払い、薬師寺秘仏吉祥天開扉	17	先勝	とつ	危	廿二日	土	きのえ	とら	七赤	宇都宮一荒山神社秋祭、京都平安神宮時代祭、京都鞍馬寺火祭、潮来慈母観音地藏祭	18	友引	たつ	室	廿三日	月	いのえ	たう	五黄	霜降、電信電話記念日	19	先負	のぞ	壁	廿四日	火	いのと	み	四緑	国連の日、不成就日	20	佛滅	みつ	奎	廿五日	水	つちのえ	ま	三碧	三りんぼう、一粒万倍日	21	大安	たい	婁	廿六日	木	つちのえ	二	黒	原子力の日、天理教秋季大祭、宮崎神宮大祭	22	赤口	さ	胃	廿七日	金	かのえ	さ	一	白	読書週間、庚申	23	先勝	とら	昴	廿八日	土	かのと	とら	九紫	速記記念日、一粒万倍日	24	友引	や	畢	廿九日	日	みづのえ	い	ね	七赤	福岡香椎宮秋季例祭	25	先負	あ	参	三十日	月	みづのえ	とら	一	白	久留米高良大社例祭、大津天孫神社祭、愛川金刀比羅宮祭	26	佛滅	なる	参	三十一日	火	みづのえ	たう	九紫	神戶海神社祭	27	大安	お	井	十月	水	きのえ	たう	八白	十三夜、芭蕉忌、京都広隆寺牛祭、十三夜、芭蕉忌、京都池上本門寺会式	28	赤口	ひ	鬼	十一日	木	きのの	み	七赤	日蓮聖人忌、和歌山釜山山祭、一粒万倍日	29	先勝	とつ	柳	十日	金	ひのえ	う	六白	鐵道記念日、釜石曳船祭	30	友引	た	星	九日	土	ひのと	つ	五黄	つちのえ	三碧	三りんぼう、一粒万倍日	31	大安	あ	翼	八日	日	かのと	う	二	黒	寒露、上弦、長崎おくんち、旧重陽、不成就日	1	日	きのえ	う	九紫	万国郵便連合記念日、久留米高良大社例祭、大津天孫神社祭、愛川金刀比羅宮祭	2	先勝	とら	昴	七日	土	かのえ	わ	三碧	寒露、上弦、長崎おくんち、旧重陽、不成就日	3	大安	たい	房	六日	金	つちの	み	四緑	国際文通週間、亥の子餅	4	赤口	とつ	翼	五日	木	つちのえ	い	五黄	達磨忌	5	先勝	た	軫	四日	水	ひのと	とら	六白	里親デー、福島二本松提灯祭、京都北野天満宮渡御祭	6	友引	のぞ	角	三日	火	ひのえ	さ	七赤	一粒万倍日	7	先負	みつ	亢	二日	月	きのの	とら	七赤	労働衛生週間、共同募金、都民の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁、旧九月大	8	佛滅	たい	氐	一日	日	きのの	う	三碧	寒露、上弦、長崎おくんち、旧重陽、不成就日	9	大安	たい	房	廿一日	火	きのえ	わ	六白	愛媛新居浜太鼓まつり、一粒万倍日、日光東照宮秋祭、伊勢神宮神嘗祭、統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養、東京日本橋べつたら市、京都建勲神社舟岡祭、八せん始め、土用、えびす講、誓文払い、薬師寺秘仏吉祥天開扉	10	赤口	さ	心	廿二日	土	きのの	とら	七赤	宇都宮一荒山神社秋祭、京都平安神宮時代祭、京都鞍馬寺火祭、潮来慈母観音地藏祭	11	先勝	とら	尾	廿三日	月	いのえ	たう	五黄	霜降、電信電話記念日	12	友引	や	箕	廿四日	火	いのと	み	四緑	国連の日、不成就日	13	先負	あ	斗	廿五日	水	つちのえ	ま	三碧	三りんぼう、一粒万倍日	14	佛滅	なる	牛	廿六日	木	つちのえ	二	黒	原子力の日、天理教秋季大祭、宮崎神宮大祭	15	大安	お	女	廿七日	金	かのえ	さ	一	白	読書週間、庚申	16	赤口	ひ	虚	廿八日	土	かのと	とら	九紫	速記記念日、一粒万倍日	17	先勝	とつ	危	廿九日	日	みづのえ	い	ね	七赤	福岡香椎宮秋季例祭	18	友引	た	室	三十日	月	みづのえ	とら	一	白	久留米高良大社例祭、大津天孫神社祭、愛川金刀比羅宮祭	19	先負	あ	参	三十一日	火	みづのえ	たう	九紫	神戶海神社祭	20	佛滅	のぞ	奎	十月	水	きのの	み	七赤	日蓮聖人忌、和歌山釜山山祭、一粒万倍日	21	大安	あ	翼	十一日	木	きのの	み	七赤	十三夜、芭蕉忌、京都広隆寺牛祭、十三夜、芭蕉忌、京都池上本門寺会式	22	赤口	ひ	虚	十二日	金	ひのえ	う	六白	鐵道記念日、釜石曳船祭	23	友引	た	星	十三日	土	ひのと	つ	五黄	国際文通週間、亥の子餅	24	先勝	た	軫	十四日	日	きのの	とら	六白	里親デー、福島二本松提灯祭、京都北野天満宮渡御祭	25	先負	みつ	亢	十五日	月	きのの	とら	七赤	労働衛生週間、共同募金、都民の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁、旧九月大	26	大安	たい	房	十六日	火	かのえ	い	二	黒	寒露、上弦、長崎おくんち、旧重陽、不成就日	27	佛滅	なる	牛	十七日	水	つちの	え	一	白	読書週間、庚申	28	赤口	ひ	虚	十八日	木	つちの	え	ね	九紫	速記記念日、一粒万倍日	29	先勝	とつ	危	十九日	金	みづの	え	わ	六白	久留米高良大社例祭、大津天孫神社祭、愛川金刀比羅宮祭	30	友引	や	畢	二十日	土	きのの	とら	七赤	宇都宮一荒山神社秋祭、京都平安神宮時代祭、京都鞍馬寺火祭、潮来慈母観音地藏祭	31	大安	あ	翼	二十一日	日	きのの	とら	七赤	霜降、電信電話記念日	1	先勝	とら	昴	二十二日	月	いのえ	たう	五黄	国連の日、不成就日	2	赤口	さ	心	二十三日	火	いのと	み	四緑	国連の日、不成就日	3	先負	あ	斗	二十四日	水	つちの	え	ま	三碧	三りんぼう、一粒万倍日	4	佛滅	なる	牛	二十五日	木	つちの	え	二	黒	原子力の日、天理教秋季大祭、宮崎神宮大祭	5	大安	お	女	二十六日	金	かのえ	さ	一	白	読書週間、庚申	6	赤口	ひ	虚	二十七日	土	かのと	とら	九紫	速記記念日、一粒万倍日	7	先勝	とつ	危	二十八日	日	みづの	え	い	ね	七赤	福岡香椎宮秋季例祭	8	友引	た	室	二十九日	月	みづの	え	とら	一	白	久留米高良大社例祭、大津天孫神社祭、愛川金刀比羅宮祭	9	先負	あ	参	三十日	火	みづの	え	たう	九紫	神戶海神社祭	10	佛滅	のぞ	奎	十月	水	きのの	み	七赤	日蓮聖人忌、和歌山釜山山祭、一粒万倍日	11	大安	あ	翼	十一日	木	きのの	み	七赤	十三夜、芭蕉忌、京都広隆寺牛祭、十三夜、芭蕉忌、京都池上本門寺会式	12	赤口	ひ	虚	十二日	金	ひのえ	う	六白	鐵道記念日、釜石曳船祭	13	友引	た	星	十三日	土	ひのと	つ	五黄	国際文通週間、亥の子餅	14	先勝	た	軫	十四日	日	きのの	とら	六白	里親デー、福島二本松提灯祭、京都北野天満宮渡御祭	15	先負	みつ	亢	十五日	月	きのの	とら	七赤	労働衛生週間、共同募金、都民の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁、旧九月大
----	---	-----	----	----	-----------------------------------	----	----	-----	---	-----	---	-----	---	----	---	----	----	----	---	-----	---	-----	----	----	--	----	----	----	---	-----	---	-----	----	----	------------	----	----	----	---	-----	---	-----	---	----	-----------	----	----	----	---	-----	---	------	---	----	-------------	----	----	----	---	-----	---	------	---	---	----------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	---	---	---------	----	----	----	---	-----	---	-----	----	----	-------------	----	----	---	---	-----	---	------	---	---	----	-----------	----	----	---	---	-----	---	------	----	---	---	----------------------------	----	----	----	---	------	---	------	----	----	--------	----	----	---	---	----	---	-----	----	----	-----------------------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	---------------------	----	----	----	---	----	---	-----	---	----	-------------	----	----	---	---	----	---	-----	---	----	------	----	-------------	----	----	---	---	----	---	-----	---	---	---	-----------------------	---	---	-----	---	----	--------------------------------------	---	----	----	---	----	---	-----	---	----	-----------------------	---	----	----	---	----	---	-----	---	----	-------------	---	----	----	---	----	---	------	---	----	-----	---	----	---	---	----	---	-----	----	----	--------------------------	---	----	----	---	----	---	-----	---	----	-------	---	----	----	---	----	---	-----	----	----	-----------------------------------	---	----	----	---	----	---	-----	---	----	-----------------------	---	----	----	---	-----	---	-----	---	----	---	----	----	---	---	-----	---	-----	----	----	--	----	----	----	---	-----	---	-----	----	----	------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-----------	----	----	---	---	-----	---	------	---	----	-------------	----	----	----	---	-----	---	------	---	---	----------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	---	---	---------	----	----	---	---	-----	---	-----	----	----	-------------	----	----	----	---	-----	---	------	---	---	----	-----------	----	----	---	---	-----	---	------	----	---	---	----------------------------	----	----	---	---	------	---	------	----	----	--------	----	----	----	---	----	---	-----	---	----	---------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-----------------------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-------------	----	----	---	---	-----	---	-----	----	----	--------------------------	----	----	----	---	-----	---	-----	----	----	-----------------------------------	----	----	----	---	-----	---	-----	---	---	---	-----------------------	----	----	----	---	-----	---	-----	---	---	---	---------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	---	----	-------------	----	----	----	---	-----	---	-----	---	---	----	----------------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	----	----	--	----	----	---	---	------	---	-----	----	----	------------	---	----	----	---	------	---	-----	----	----	-----------	---	----	---	---	------	---	-----	---	----	-----------	---	----	---	---	------	---	-----	---	---	----	-------------	---	----	----	---	------	---	-----	---	---	---	----------------------	---	----	---	---	------	---	-----	---	---	---	---------	---	----	---	---	------	---	-----	----	----	-------------	---	----	----	---	------	---	-----	---	---	---	----	-----------	---	----	---	---	------	---	-----	---	----	---	---	----------------------------	---	----	---	---	-----	---	-----	---	----	----	--------	----	----	----	---	----	---	-----	---	----	---------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-----------------------------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-------------	----	----	---	---	-----	---	-----	---	----	-------------	----	----	---	---	-----	---	-----	----	----	--------------------------	----	----	----	---	-----	---	-----	----	----	-----------------------------------

○十月の行事

苦も染も心掛けから貯蓄から

十一月



家事

〔上旬〕 夜長の秋の家族団らん。草花球根の植付け。窓ガラスふき・カーテン取替え
〔中旬〕 年賀状の用意。お歳暮計画。暖房器具の手入れ。お年寄り・幼児の健康注意。縫い物・編み物。台所整理。防犯と火の用心
〔下旬〕 漬け物仕込み。健全な歳末家計立案

農事

〔上旬〕 水田菜種植付け。晩生稲・人参・煮食大根・たくあん大根・ほうれん草収穫
〔中旬〕 煮食大根・秋まき根深こけ・人参・ほうれん草収穫。米の調整。豚の種子・人参
〔下旬〕 玉ねぎ・甘藷植付け。畑作よしず覆い。秋ねぎ・こほう・甘藍・人参収穫

十一月小 霜月 宿

十一月七日立冬の節より月命乙亥二
 黒土星の月となる。暗剣殺西南方

一日 日出 六時〇二分 旧 十月小
 日入 一六時四六分 十一月大

十五日	水	つちのどとう	九紫	七五三	解禁、出雲大社神在祭	17	友引	さん	壁	廿日	木	きのえうま	三碧	3	先勝	あやぶ	角	
十四日	火	つちのえとら	一白	小つち		16	先勝	たいら	室	廿九日	水	みづのど	四緑	2	赤口	やぶる	軈	
十三日	月	ひのど	二黒	〇望、京都空也堂開山忌		15	赤口	みつ	危	廿八日	火	みづのえ	五黄	朔	大安	とる	翼	
十二日	日	ひのえ	三碧	京都嵐山もみじ祭		14	大安	のぞ	虚	廿七日	月	かのと	う六白	29	友引	たいら	張	
十一日	土	きのと	四緑	世界平和記念日、三りんぼう		13	佛滅	たつ	女	廿六日	日	かのえ	と七赤	28	先勝	たいら	星	
十日	金	きのえ	いぬ	五黄 一粒万倍日、不成就日		12	先負	とつ	牛	廿五日	土	つちのど	と八白	27	赤口	みつ	柳	
九日	木	みづのど	と六白	太陽暦採用記念日、一粒万倍日、一―九番の日、一粒万倍日		11	友引	ひつ	く	廿四日	金	つちのえ	ね九紫	26	大安	のぞ	鬼	
八日	水	みづのえ	と七赤	世界都市計画の日、京都伏見稲荷火焚祭、ふいこ祭、とおかんや		10	先勝	おさん	某	廿三日	木	ひのえ	と一白	25	佛滅	たつ	井	
七日	火	かのと	ひつじ	八白 立冬、計連革命記念日		9	赤口	なる	尾	廿二日	水	ひのえ	いぬ	二黒	24	先負	とつ	参
六日	月	かのを	うま	九紫 〇上弦、大つち、三りんぼう		8	大安	なる	心	廿一日	火	きのと	と三碧	23	友引	ひつ	鷲	
五日	日	つちのど	とみ	一白 己巳		7	佛滅	あや	ぶ	廿日	月	きのえ	と四緑	22	先勝	おさん	畢	
四日	土	つちのえ	たつ	二黒 消費者センター開設記念日		6	先負	やぶる	底	十九日	日	みづのど	と五黄	21	赤口	なる	昴	
三日	金	ひのど	と	三碧 文化の日、唐津おくんち、京都松尾大社上卯大祭、白河南湖神社祭		5	友引	とる	元	十八日	土	みづのえ	と六白	20	大安	あや	胃	
二日	木	ひのえ	とら	四緑 燈台記念日、教育文化週間		4	先勝	さん	角	十七日	金	かのと	と七赤	19	佛滅	やぶる	妻	
一日	水	きのと	と	五黄 新米穀年度、旧十月小		3	赤口	たいら	軈	十六日	木	かのを	と八白	18	先負	とる	奎	

十二月



十二月大 師走 宿

（十一月七日大雪の節より月命丙子） 一日 日出 六時三二分 日入 二六時二八分 旧十一月大
 白水星の月となる。暗剣殺北の方）

家事

〔上旬〕小包郵送は早目に。正月着の用意。すすはらい。障子・ふすまの貼り替へ。
 〔中旬〕年賀状発送。正月用材料の購入。
 〔下旬〕墓参。クリスマスプレゼント。餅つき。正月の飾り付け。神棚・仏壇の浄め拭き。正月用煮物。家屋内外の大掃除。

農事

〔上旬〕秋まき早生甘藷植付け。桑園の施肥。中耕・結束。たくあん大根・煮食大根・結球白菜・秋ねぎ・ごぼう・甘藷・人参収穫。
 〔中旬〕麦の中耕・土入れ。畑の手篋立て。結球白菜・ごぼう・冬ねぎ・根深ねぎ収穫。
 〔下旬〕麦踏み・甘藷・冬ねぎ収穫。

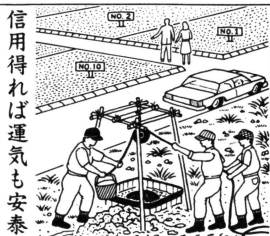
一日	金	きのどびつじ	二黒	映画の日、歳末助け合い運動。旧十一月大	不成就日	秩父神社夜祭、一粒万倍日	人権週間、一粒万倍日	納めの水天宮、三りんぼう	●上弦、秋葉権現火防祭	かえ	ね	六	白	七	日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪				
二日	土	ひのえ	さ	不成就日	秩父神社夜祭、一粒万倍日	人権週間、一粒万倍日	納めの水天宮、三りんぼう	●上弦、秋葉権現火防祭	かえ	ね	六	白	七	日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	18	佛滅	おさん	妻	
三日	日	ひのど	と	秩父神社夜祭、一粒万倍日	人権週間、一粒万倍日	納めの水天宮、三りんぼう	●上弦、秋葉権現火防祭	かえ	ね	六	白	七	日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	17	先負	なる	壺		
四日	月	つちのえ	い	秩父神社夜祭、一粒万倍日	人権週間、一粒万倍日	納めの水天宮、三りんぼう	●上弦、秋葉権現火防祭	かえ	ね	六	白	七	日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	16	友引	あぶ	登		
五日	火	つちのど	る	納めの水天宮、三りんぼう	●上弦、秋葉権現火防祭	かえ	ね	六	白	七	日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	15	先勝	やぶ	る				
六日	水	か	の	え	ね	六	白	七	日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	14	赤口	とる	危						
七日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	13	大安	さん	虚	廿六日	火	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	12	佛滅	たい	ら
八日	金	み	つ	の	え	と	ら	四	緑	成道会、三りんぼう	11	先負	みつ	牛	廿三日	土	い	の	と	う	し	五	黄	大	雪	10	友引	の	ぞ
九日	土	み	つ	の	と	う	三	碧	京都了徳寺大根焚き、漱石忌	10	先負	みつ	牛	廿二日	金	ひ	の	え	と	う	し	五	黄	大	雪	9	先勝	の	ぞ
十日	日	き	の	え	と	う	二	黒	世界人権デー、納めの金足羅、大宮氷川神社大湯祭、不成就日	9	先勝	の	ぞ	廿一日	木	き	の	と	う	し	五	黄	大	雪	8	赤口	た	つ	
十一日	月	き	の	と	う	一	白	二	黒	18	佛滅	おさん	妻	廿日	水	き	の	え	と	う	し	五	黄	大	雪	7	大安	と	つ
十二日	火	ひ	の	え	と	う	九	紫	17	先負	なる	壺	廿九日	火	み	つ	の	と	う	し	五	黄	大	雪	6	佛滅	ひ	つ	
十三日	水	ひ	の	と	う	八	白	一	二	黒	16	友引	なる	元	廿八日	木	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	5	先負	む	ん
十四日	木	つ	ち	の	え	さ	る	七	赤	15	先勝	やぶ	る	室	廿七日	水	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	4	赤口	ひ	つ
十五日	金	つ	ち	の	と	り	六	白	14	赤口	とる	危	廿六日	火	か	の	と	う	し	五	黄	大	雪	13	大安	さん	虚		

〇十二月の行事

締めた家計に笑顔の師走

一白水星

○整備運



信用得れば運氣も安泰

昭和五十六年辛酉 八歳
 昭和四十七年壬子 十七歳
 昭和三十八年癸卯 二十六歳
 昭和二十九年甲辰 三十五歳
 昭和二十年乙酉 四十四歳
 昭和十一年丙子 五十三歳
 昭和二年丁卯 六十二歳
 大正七年戊午 七十一歳
 明治四十二年己酉 八十歳
 明治三十三年庚子 八十九歳
 明治二十四年辛卯 九十八歳

○本年は勢に乗った昨年の運氣を引き継いで、諸事好調に進展する年となります。しかし足もとを忘れ前進一本になると、肝心な事が手抜きになり、またとまらない結果を招きます。とかく本業外の雑用が発生したり、依頼事やうまい話などが起きやすい時ですが、十二分に検討した上で動くことです。経済面は有利な年ですが、あれこれ手を広げず目標を絞り、契約事などは話だけにせず書類にすることです。それが本年の安泰を保ち、備えを固めます。かせ、呼吸器、胃腸疾患に注意。開業、拡張、就職、新築、改築等は吉。

●吉方 壬子癸 丙午丁 庚酉辛
 凶方 丑艮寅 甲卯乙 辰巽巳
 未坤申 戌乾亥

星性 (一の水相) 大吉 六白 七赤 一白 三碧 四緑 二黒 五黄 八白 九紫

一月の運勢

新しい意欲に燃え積極的に出ても調子に乗ることは禁物。順や妨害が生じがち。言葉と乗り物に注意。吉方 丑艮寅、丙午丁、庚亥

二月の運勢

対立に注意し、力みすぎず平常心で進むことがちだが信用は拡大し約束は堅く守れ。かぜに注意のこと。吉方 壬子癸、丙午丁、庚酉辛

三月の運勢

何事に自信が持てても実行は慎重に。気のゆるみから失敗起きがち。雑務に追われるなど、旧病に注意。吉方 庚辛

四月の運勢

手腕を大いに振るえる盛運月だが進退はタイミングが肝心。利己的にならず公正な姿勢が大切。忠告を守り謙虚にいけ。吉方 なし

五月の運勢

前月に続いて好調な運氣だが猛進や衝動的行動は禁物。実際面は明るく発展するが言葉に注意し何事も節度を忘れるな。吉方 壬子癸、丙午丁

六月の運勢

新しい発想の芽生える月だが、順調を欠きがち。身辺の整備、改善などに力を入れ極力円満を図れ。その他乗り物に注意。吉方 壬癸

七月の運勢

セブンスを働かせ頭脳プレーを發揮せよ。運氣を多くせず目標を絞った前進が肝心。争い事は避けぬと後を引く。心臓に注意。吉方 なし

八月の運勢

努力が空転したり善意が役立たぬ時。人に先立つ事や不なれな事は一切避け本分を守れ。交際面の拡大は不可。体調に注意。吉方 庚酉辛

九月の運勢

新企画より実力をつけることが肝心で万全の前進態勢を固めよ。雑事多発しても本務を怠るな。消化器系統に注意せよ。吉方 庚酉辛

十月の運勢

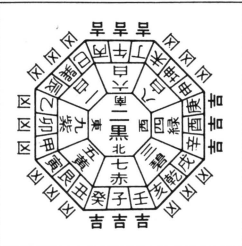
大いにやる気の起きる時だが甘言に乗るな。事の選択を誤るとムダ骨に終わる。良い協力者の忠言を守れ。車に注意。吉方 丙午丁

十一月の運勢

急がずあわてず地道に事を進めよ。利益に走り義理を忘れぬこと。好調でも多情になると支障あり。かせ、胸部に注意。吉方 壬子癸、丙午丁、庚酉辛

十二月の運勢

目標を立てたら他事に心を移すな。雑用多くてもマイペースで本務を尽くせ。前進より身辺を固めよ。疲労は旧病を招く。吉方 庚酉辛



職 哲学者、法律家、政治家、著述業、医師、水産・漁業、醸造業、印刷業、観光業、酒販売業、浴場、飲食業等。

二黒土星



浮沈蓮



忘れぬ用心、手堅い前進

昭和六十四年己巳 当 歳
昭和五十五年庚申 九 歳
昭和四十六年辛亥 十八 歳
昭和三十七年壬寅 二十七 歳
昭和二十八年癸巳 三十六 歳
昭和十九年甲申 四十五 歳
昭和十年乙亥 五十四 歳
昭和元年丙寅 六十三 歳
大正六年丁巳 七十二 歳
明治四十二年戊申 八十一 歳
明治三十二年己亥 九十 歳

●吉方 壬子癸 甲卯乙 丙午丁 未坤申
凶方 丑辰寅 辰巽巳 戌乾亥 庚酉辛 戌乾亥

○昨年に続いて運気順調な気がする年ですが、本年は好調に進展する反面、思わぬ期待外れがある年といえます。軽率に自己過信して不なれな事や大事に手を出すのは避け、自分のペースを守り、手堅く進む事です。責任を負うとか重荷を担うような事が起きますが、それがあなたの評価を決めることになります。真事多く、その対応に追われかねません。一方旧事が復活し新たに对人関係が展開する傾向もありますが節度を守り慎重にすることです。平穩を得られます。脳の障害、消化器の疾病、持病再発に注意。建築、建臺開業等は不可。

職業 農業、不動産業、建設土木、陶磁器業、骨董業、慈善事業、大衆食堂、大衆向職業、婦人用品や洋品店等。

一月の運勢

好調な運気に恵まれるが何事も急激な進退は禁物。昨年からの課題を片づけ今後の飛躍のために身辺を整えることが大切。吉方 壬子癸、丑辰寅 丙午丁、坤申

二月の運勢

積極的気分、自信をもつて進退しても万事七分に止めても。好調に油断せず、手堅く進めば無事。疲れは残すな。吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁、甲卯

三月の運勢

心身共に活気が満ち好調な運気に乗って行動的に出ようが、自己中心的にならず大きな立場で進退せよ。神経疲れに注意。吉方 甲卯乙

四月の運勢

快速な運気に甘えずマイペースを崩すな。社交面は明るければ得るところ大だが言葉を慎み飲食は節度を守れ。消化器注意。吉方 なし

五月の運勢

心境に変化が生ずる一方、何事も改革の運気が起る時。衝動的にならず十分考慮した選択をすること。交際面の和を大切に。吉方 甲卯乙

六月の運勢

活気が出て明るい月。前向きに才能を発揮すれば成果生ず。多方面に手を出さず、目標一つに進め。人の争い事は避けよ。吉方 なし

七月の運勢

なれた事にも手違いや錯覚等生じやすい月。強気に出るより平常心で事に当たれ。欲を出すすと損失多し。下半身に要注意。吉方 なし

八月の運勢

新事に手を出したり人に先立っての突進は禁物。何かと雑事が起きるが誠意を忘れるな。賢者の指示や忠告が役に立つ。吉方 丙午丁

九月の運勢

気分一新し大いに活力発揮できる月。なすべき事は延ばさず敏速に取り掛かれ。手に余る事、新事は避けよ。乗り物注意。吉方 壬子癸、丙午丁

十月の運勢

順調に進展する好運月だが無理な前進や大事は避けよ。独走せず周囲との融和を図れば交際面も明るい月。かせに注意。吉方 壬子癸、丙午丁

十一月の運勢

表向きは順調に見えるが思わぬ支障が生じがち。自信があつても進度を落とし手堅く進めば無事。争い禁物。腹部に注意。吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁

十二月の運勢

手腕を買われ何かと多忙な月。奉仕精神を生かせば信頼を得。子外れの事は断わる方が賢明。過労を避け身辺を整えよ。吉方 甲卯乙

○二黒土星の運勢

まず信用のある人となれ、そのために貯蓄から始めよ

三碧木星

○ 盛大運

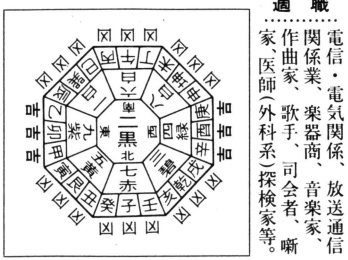


有頂天思わぬ危険忘れるな

昭和六十二年戊辰 一 歳
 昭和五十四年己未 十 歳
 昭和四十五年庚戌 十九 歳
 昭和三十六年辛丑 二十八 歳
 昭和二十七年壬辰 三十七 歳
 昭和十八年癸未 四十六 歳
 昭和九年甲戌 五十五 歳
 昭和四年乙丑 六十三 歳
 大正十五年丙辰 七十四 歳
 大正五年丁未 八十二 歳
 明治四十年丁未 九十一 歳
 明治三十二年戊戌 九十一 歳

○吉方 甲卯乙 庚酉辛
 ●凶方 壬子癸 丑艮寅
 丙午丁 未坤申
 戌乾亥 辰巽巳

○本年はあなたにとって最も勢いの強い時で、努力次第では大きな成果の上がる盛運の年です。これまで蓄積し練り上げてきた手腕力量を、勇気と共に発揮するに手出しは禁物で、あくまで本命の標的のみを狙い、多方面に気を散らすと支障が起き期待外れとなります。自己中心的にひとり独走することなく公明正大な姿勢で進むことが肝心で、さらに行きすぎを戒め情勢に臨機応変に対応する知恵も大切です。分外の動きから過労、精神不安定、心臓外傷等に要注意で新築、開店等は吉です。



一月の運勢

やる気十分でも勢いに乗った猛進は思わぬ雑事や問題を起こしがち。堅実さを守り何事も行きすぎぬこと。乗り物に注意。
 吉方 坤申、乾亥

二月の運勢

快適な運氣に恵まれ大いに活動して成果を得る月。好調でも節度ある進退を心がけよ。目上の忠告を忘れず本務を果たせ。
 吉方 甲卯乙、庚酉辛

三月の運勢

強引や独走などは禁物で、周囲との協調、和合を大切にせよ。物質運に恵まれるが流れに素直に従え。
 吉方 なし

四月の運勢

変わった行き方を望むが急速な転回が破れを招く。独り合点せず他の意見を生かせ。万事一歩ずつ進む気配りと沈着さが肝心。
 吉方 なし

五月の運勢

心身共に快適となり積極的に活動できる月。自信過剰となり多角的に猛進しがち。表現は柔軟に、文書等は慎重に扱う事。
 吉方 庚酉辛

六月の運勢

気負ったり力みすぎになると何事も支障挫折を招く。情勢を静観し現状を堅持する姿勢が大切。新規事は禁物。体調注意。
 吉方 なし

七月の運勢

何事にも平常心で対応すべき月。雑事多発しがちだが人に先立つ事や大事は避け身辺の強化を図る方が賢明。胃腸に注意。
 吉方 甲卯乙

八月の運勢

運氣活発に進展する月で、計画事は実行に移してよい。手に余る事に挑んだり衝動的に進むは禁物。言葉と乗り物に注意。
 吉方 なし

九月の運勢

今月も好調な月だが勢いに乗った猛進は不意に支障を生ず。状況に応じた柔軟な進退が肝心。取引は有利だが節度も大切。
 吉方 なし

十月の運勢

手腕を買われて依頼事が起きたり世話事生じがち。順調に進む一方で思わぬ雑事もあり。過激な言動は慎む事。旧病に注意。
 吉方 なし

十一月の運勢

氣力活発となり積極的に進み成果あり。利己的にならず公事に力を注げば目上の引立てや有利な評価を得。乗り物注意。
 吉方 甲卯乙、庚酉辛

十二月の運勢

多事多忙の中にも喜びを生ずる月。好調に甘え進みすぎは脱線のもと。人間関係では言葉は慎重に。支出を制し蓄積図れ。
 吉方 なし

四緑木星



豊かな実りに忘れぬ感謝

一月の運勢

年頭から運氣活発となり、何事にも積極的となるが目標の選択が肝心。大事には目上の忠告を生かせ、乗りに要注意。
吉方 坤申

二月の運勢

明るく快調な月だが衝動的に進むは禁物。社交面も進展するが拡大しすぎに注意。過食は禁物。重に。
吉方 辰巽巳 戌乾

三月の運勢

頭を切り替え最善の策を取ること。欠陥を取り除き能率の向上を図れ。何事も急ぐ。転倒に注意。
吉方 辰巽巳

四月の運勢

今月は行動的になるより知恵で勝負するべきで迷わず標的を絞って進め。不なれなき行方は思わぬ支障あり。文書に注意。
吉方 乾

五月の運勢

期待を持ちたり自己過信は禁物。行きすぎた言動を慎み節度ある進退が大切。新事、大事は好機を待て。体調低下に注意。
吉方 戌乾

六月の運勢

運氣は上向くが大きく動く時ではない。身辺にも雑事多し。がちだが本務を忘らぬこと。独断はせず目上の助言を生かせ。
吉方 なし

七月の運勢

前進への氣力活発となり行動的となる月。予定の計画は実行してよいが行きすぎや他事に心移すと支障あり。乗り物に注意。
吉方 なし

八月の運勢

挑戦的になったり衝動的になると成る事も成らず。平常心を持ち節度ある対応が肝心。信頼得れば利多し。消化器に注意。
吉方 なし

九月の運勢

順調に運んでも油断は禁物。とかく運氣安定せず、雑事や旧事再燃しがち。心静め、柔軟な対応が大切。柔病等に注意。
吉方 なし

十月の運勢

万事好調に進展し努力に依りて成果がある月。自己中心の姿勢にならず公正な姿勢が肝心。良い目上の指示を守れば順調。
吉方 なし

十一月の運勢

運氣明るく何かと喜びのある月だが、定石守り脱線を避け、社交面も順調だが言葉に注意し誤解されない。飲食面に注意。
吉方 辰巽巳 戌乾

十二月の運勢

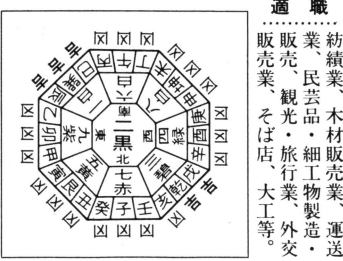
気分一新して方向転換の氣も生ずるが、急激な行動は支障を招く。雑事も多いが身辺の手を下さず、自分の整理が大切。
吉方 辰巽巳

昭和六十二年丁卯	二	歳
昭和五十三年戊午	十一	歳
昭和四十四年己酉	二十	歳
昭和三十五年庚子	二十九	歳
昭和二十六年辛卯	三十八	歳
昭和十七年壬午	四十七	歳
昭和八年癸酉	五十六	歳
大正十三年甲子	六十五	歳
大正四年乙卯	七十四	歳
明治三十九年丙午	八十三	歳
明治三十年丁酉	九十二	歳

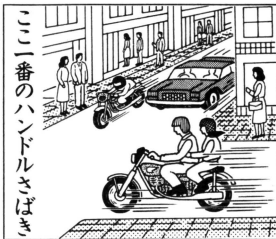
●吉方 辰巽巳
●凶方 壬子癸 未坤申 庚酉辛 戌乾 丑艮寅 甲卯乙 庚酉辛

○好調な昨年の運氣に引き続き、本年も快通な年となるでしょう。何事にも氣負つたり勢いづいて、力んだ姿勢は禁物でかえつて不利な結果を招きます。時の流れ、環境に従つて行くことこそ最も賢明であり成果のあがる行き方です。経済面も順調ですが支出の増加を抑えることが大切です。人間関係も快調で豊かになりますが先方のベースに乗り本分を忘れぬことで、善意で言つたことが誤解されたり問題になりがちです。また他人事に介入せぬことです。開業、建築、交渉事、結婚等は吉です。

星性(木星の吉凶)
大吉 一白 九紫
吉 二碧 四緑 六白 七赤
凶 三碧 五黄 六白 七赤
凶 八白

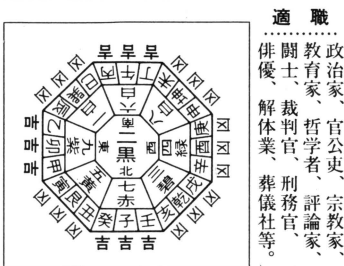


五黄土星



昭和六十一年丙寅	三	歳
昭和五十二年丁巳	十二	歳
昭和四十三年戊申	二十	歳
昭和三十四年己亥	三十	歳
昭和二十五年庚寅	三十九	歳
昭和十六年辛巳	四十八	歳
昭和七年壬申	五十七	歳
大正十二年癸亥	六十六	歳
大正三年甲寅	七十五	歳
明治三十八年乙巳	八十四	歳
明治二十九年丙申	九十三	歳

○本年はいわば分かれ道にさしかかった時で、何事も進退に当たっては慎重な選択が大切です。自分好みや思いにつきまどくことは、後に道を通り返り自わうことになります。これまでの道を振り返り自己反省をし、新たな方針を見つづけることです。頑固になったり独善的になると、親しい人を見失うとか孤立無援の立場に立ちます。どこまでも周囲の人たちとの円満な接触を心がけるべきで、ことに利欲に傾くことは信頼を失うことになり今後の発展の妨げとなります。脳出血、心臓、消化器、打撲外傷等に注意。改築、改裝設備投資、転職は吉。



一月の運勢

快速な運気に恵まれ大いに積極的に出がちだが、ブレーキが大切。交際が過ぎて自分を忘れがち。失言や放言に注意。失言方 壬子癸、丑辰寅、辰巳己、丙午丁、坤申

順調に乗じて分外の猛進は慎むこと。情報を活用し巧みに進めば成果も好機を得られる。かせに注意。吉方 壬子癸

二月の運勢

新しい思いつきがあったり変化を求めたりしがちだが、利欲本位では支障ありと独断にならず周囲との調和を大切に。吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁

思わぬ吉事がある反面不意の障害、損失ありがち。ち密な気配り忘れず小事を軽視するな。争い事は厳禁、乗り物に注意。吉方 丙午丁

三月の運勢

心身共に明るく、着進めとなるが落ち着きを失われがち。あれこれと気が足り冷静に進退していれば吉。吉方 甲卯乙

標的に向かって大いに力量を発揮せよ。好調に乗った過度な言動は逆効果を生ず。欲求を制し公事に尽力の姿勢が吉を招く。吉方 壬子癸、甲乙、丙午丁

四月の運勢

何事にも支障や妨害が生じがち。無理な前進は逆効果。状況に無じて柔軟に対応し無理はしないこと。飲食面にも要注意。吉方 甲卯乙

前月の余勢で運気は快調。経済面も努力もかきみがかち。社交面も広がりが表現は慎重に飲食に注意。吉方 壬子癸、丙午丁

五月の運勢

運気は底を脱したが油断禁物。性急な事を始めたり大事の着手は控えて無事。雑手も多いて自分を忘れるな。過労に注意。吉方 甲卯乙

発想の転換を図り新天地を開拓すべき月。自己満足や自信過剰は後退のもと。目上への忠告を生かすことが賢明外傷に注意。吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁

六月の運勢

一躍して活発な運気が展開。積極的、行動的となる月。人間関係の円満を図り独善を避けよ。何事も行きすぎは支障あり。吉方 丙午丁

運気は明るいが多忙のため実力分散しがち。目標一本に絞る他の誘いに乗るな。争い事は成果を失うも。火氣に要注意。吉方 甲卯乙

六白金星

光明運



栄光守るくふう忘れるな

昭和六十年乙丑 四歳
 昭和五十一年丙辰 十三歳
 昭和四十二年丁未 二十二歳
 昭和三十三年戊戌 三十一歳
 昭和二十四年己丑 四十歳
 昭和十五年庚辰 四十九歳
 昭和六年辛未 五十八歳
 大正二十一年壬戌 六十七歳
 大正二年癸丑 七十六歳
 明治三十七年甲辰 八十五歳
 明治三十八年乙未 九十四歳

一月の運勢

年明けにふさわしい新しい対応が肝心で、自己中心的にならず周囲との協調を図れ。社交は柔和が第一。乗り物には要注意。
 吉方 壬子癸、辰巽
 巳 丙午丁

二月の運勢

目標に向かって力強い前進が始まるが範囲を拡大しすぎぬこと。好調でも急ぐことなく冷静な進退が成果を得る。心臓に注意。
 吉方 辰巽巳

三月の運勢

努力が空回りし期待も外れがち。何事も無理な方法をとらず流れに巧みに乗って自分を大きく。社交面の拡大は労苦多し。
 吉方 なし

四月の運勢

運氣やや好転してもまだ波滯多し。急激な行動や善的な動き方は禁物で腰をすく今後の飛躍に備えを固めるが賢明。
 吉方 辰巽巳

五月の運勢

万事活気づいて大いに行動的になる月。目標は逃がさず全力投入せよ。独善的禁物は周囲と融合して吉。乗り物に注意。
 吉方 辰巽巳

六月の運勢

好運月で経済面や交渉事には有利に運ぶ。何事も締めくくりや節度が大切で気を抜くと思わぬ結果となる。遺失物に注意。
 吉方 なし

七月の運勢

自己過信から猛進しがちだが性急は失敗を招く。意外な雑事、世話事も起きがちだが本分はあくまで守る。外出時に注意。
 吉方 なし

八月の運勢

持てる力量をフルに生かせば成果ある月。近道より正道を歩む姿勢が大切で利欲より信義を重んじる方が有利で吉慶を招く。
 吉方 なし

九月の運勢

引き続き運氣好調に運ぶが、諸事一気に決める行き方は禁物。順調なほど冷静な対応が肝心。社交面は明るい言葉に注意。
 吉方 なし

十月の運勢

内部を見直して自己反省し新手法を用い効ある月。自信のない事は見送り盲動する。人間関係の和を図り結果を固めよ。
 吉方 巽巳

十一月の運勢

心身共に充実感に満ち大いに手腕發揮せよ。多方面に気を散らさず焦点を絞れ。早合点や過度の競争は禁物。心臓に注意。
 吉方 辰巽

十二月の運勢

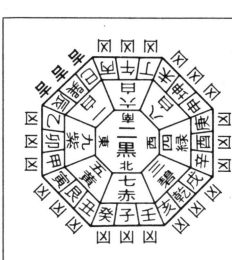
新事や大事には触れぬこと。雑務多いがあくまで本分を守り動揺するな。和合を大切にすることで有終の美を全うできる。
 吉方 なし

●吉方 辰巽巳
 壬子癸
 丙午丁
 戊乾亥

丑艮寅
 未坤申
 庚酉辛
 甲卯乙

金星(性)
 白相(六の凶)

大吉 二黒 五黄 八白
 吉 一白 六白 七赤
 三碧 四緑 九紫



職 官公吏、政治家、法律家、思想家、貴金屬業、航空業、証券取引業、鑑定業、運動具商、警備員、米穀業等。

○六白金星の運勢

勤勉と貯金の道から行くのがもつとも安全

七赤金星

低迷運



気力振るえば活路あり

昭和五十九年甲子 五歳
 昭和五十年乙卯 十四歳
 昭和四十一年丙午 二十三歳
 昭和四十二年丁酉 三十二歳
 昭和二十三年戊子 四十一歳
 昭和二十四年己卯 五十歳
 昭和二十五年庚午 五十九歳
 大正十五年辛酉 六十八歳
 大正元年壬戌 七十七歳
 明治三十六年癸卯 八十六歳
 明治二十七年甲午 九十五歳

●吉方

辰巽巳
 壬子癸
 丙午丁
 戊乾亥
 丑艮寅
 未坤申
 甲卯乙
 庚酉辛

星性
 赤相 大吉 二黒 五黄 八白
 七の凶 吉 一白 六白 七赤
 凶 三碧 四緑 九紫

○いかに自信と力量の裏づけがあるかと、本年は何事にも急進したり体当たりするような行き方は挫折を招く衰運年です。状況によっては飛躍をたぐりませんが、できるだけ手控えるべきで無理な前進はこれまでの成果を失うようになります。対人関係も誤解や背反が起きやすく、甘言やムダな誘いは避けるべきです。経済面も用心が第一で情報に躍るも損失を招くでしょう。本年は自己啓発や才能の進展に努力すると成果が上がります。過労、持病の悪化、消化器、下半身の疾病、かせの余病に注意。建築、開店、開業等すべて延期がよい。

一月の運勢

年頭から頭研え新プラン続出となるが実行には節度が大切。好調な時でも派手な発言は支障にも注意。神経の疲労にも注意。
 吉方 丑艮寅 辰巽巳

意欲的となり積極的に行動して成果を得る。節度を忘れると不意に支障生ず。人間関係の円滑和合を第一に保つてこそ無事。
 吉方 なし

二月の運勢

運氣暗転し万事思い通り進まずぬ月。あえて直進すれば逆効果となり損失を招く。新しい交際、取引等は控え現状を固めよ。
 吉方 辰巽巳

自信過剰を抑え謙虚な対応が肝心だが人の言に乗つたり無理な妥協は後悔のもと。経済面は有利だが失言、放言は慎むこと。
 吉方 なし

三月の運勢

運氣研えずモタつくが焦りは禁物。行動半径を広げず自己啓発に励む方が賢明。雑事は要領よく片づけ飛躍に備えること。
 吉方 なし

これまでのやり方、活を入れて進め。平凡に甘えたと運氣渋滞し諸事に収穫は乏しい。進善や頑固は今後の進展を妨げる。
 吉方 なし

四月の運勢

運氣一転し、活気が帯び果敢な行動が効果を奏する月。本命の進展に全力を注ぐ。独善から争いを招く。乗り物に注意。
 吉方 辰巽巳

状態に合わせて力量發揮せよ。センス生かせば意外な成果生ず。何事も落ち着きが大切で、軽率には和を乱し、対立を招く。
 吉方 巽巳

五月の運勢

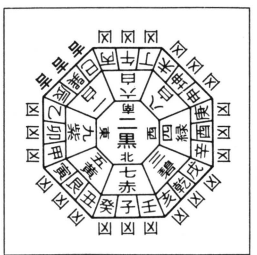
なれた手段方法を用いた臨機応変に行動すれば成果あり。変つた行き方では支障を生じがち。社交面を活用する方が有利。
 吉方 なし

期待外れの多い衰運の時。ツキを望むよりも現状の不足不備を補う方が賢明。甘言で動かさず、好機を待て。体調には注意。
 吉方 辰巽巳

六月の運勢

気負うと、始め良くても後悪い。平常心を忘れず冷静な姿勢を崩すな。雑務に追われ本分乱れがち。分外事の着手は禁物。
 吉方 辰巽巳

大小さまざまな雑事が頻発する多忙月。世話事や予定外の事は断わる方が無事。身辺を固め体力をつけよ。疲労は残すな。
 吉方 なし



職
 教授、講演家、弁護士、武芸家、關士、司會者、芸術家一般、芸能人、外科医、齒科医、刀剣業、金融業等。

八白土星



気配り忘れず足もと築け

昭和五十八年癸亥 六
昭和四十九年甲寅 十五
昭和四十年乙巳 二十四
昭和三十一年丙申 三十三
昭和二十二年丁亥 四十二
昭和十三年戊寅 五十一
昭和四年己巳 六十
大正九年庚申 六十九
明治四十四年辛亥 七十八
明治三十五年壬寅 八十七
明治十六年癸巳 九十六歲

○吉方 壬子癸 甲卯乙
●凶方 丑艮寅 辰巽巳
庚酉辛 戌乾亥

○衰運の年を脱したものの、まだ好調に進展する年ではありません。遅れを取り戻そうと性急に成果を狙うような姿勢は決して取るべきでなく、時には大きな挫折となります。自信を持つている事も実行に移すよりプランを一層練り上げても雑事が多発しますが賢明にええます。その気がなくても雑事が多発しますがそのために自分を軽視したり本筋を外れる事のないようすべきです。本年は腰をすえ心身両面の強化に努め来年の飛躍に備えるのが最も肝心なことです。消化器の疾患、精神の不安定、打撲外傷、皮膚病等に注意。新事は来年に回して吉。

職 教育家、弁護士、金融関連
業 土木建築業、倉庫業、警察官、自衛隊員、警備員、力士、ビル・デパート経営等。

適

一月の運勢

正月ムードにおはれず軽率にならず何事も節度が大切。人の口車に乗って分外事に手出しするな。また心身強化を図れ。
吉方 丑艮寅 辰巽巳、坤申

明るい姿勢で進めば諸事好都合に運ぶ。経済面の喜びや交際面に楽しさもあるが節度を守り支出を抑えよ。誤解されがち。
吉方 壬子癸

二月の運勢

状況好転してくるがまだ飛躍や猛進は支障を招く。猛進は見えても運気一転の危険あり。独走せず周囲との協調が肝心。
吉方 壬子癸 甲卯乙、丙午丁

気分一新して新事に目が移ったり、方針転換を考えるが性急は逆効果。判断を誤ると他人との調和を失う。乗り物に注意。
吉方 丙午丁

三月の運勢

活気ある勢いの強い月。自信あれば実行し。但し中途で気を抜けば挫折す。軽率な発言すれば信用を失う。
吉方 なし

気分一新して進むより、知恵で勝負せよ。才能は惜しまず生かして成果あり。好調で本戦線を拡大せず、本命に集中せよ。
吉方 甲乙

四月の運勢

マイ・ペースを続けてこそ成果は上がる。内部の問題点を一掃するに良い月。経済面は有利に運ぶが柔軟に進めれば一層好調。
吉方 甲卯乙

支障生じて方針に迷うか失望しがち。無理な目標や望みは手控え、分に合った前進が肝心。他事に関係持つな。発病に注意。
吉方 なし

五月の運勢

自信があっても独善にならば支障あり。たとえ順調でも油断は禁物。思わぬ問題も生じがち。本分外事に着手は禁物。
吉方 甲卯乙

堅く行けば無事。自己を張つたり強情は孤立のもと。人に先立つより現状を固め心身の強化に努めよ。
吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁

六月の運勢

万事順調な進展をみる吉月だが直進せず、柔軟な行動が必要。気配りが不足すると人間関係は破れがち。乗り物に注意。
吉方 丙午丁

活気に満ち多忙を乗り越えて大いに行動的に越えるが行きすぎは禁物。人間関係は融和が第一。対立争論は悔を残す。
吉方 なし

七月の運勢

八月の運勢

九月の運勢

十月の運勢

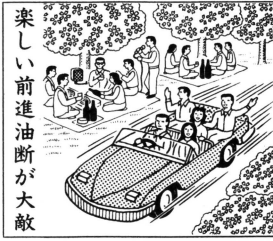
十一月の運勢

十二月の運勢

○八白土星の運勢

たくわえる人は物を大切に

九紫火星

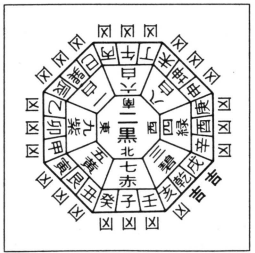


昭和五十七年壬戌 七 歳
 昭和四十八年甲辰 十六 歳
 昭和三十九年癸丑 二十五 歳
 昭和三十年乙未 三十四 歳
 昭和二十一年丙戌 四十三 歳
 昭和十二年丁丑 五十二 歳
 昭和三年戊辰 六十一 歳
 大正八年己未 七十 歳
 明治四十三年庚戌 七十九 歳
 明治三十四年壬戌 八十八 歳
 明治二十五年辛巳 九十七 歳

○運氣にわかに一転して活気に満ちた年を迎えま
 した。目標達成を目指して全力を投入することによ
 り大いに成果を得ることが出来ます。しかし利欲
 に促われたり思いつきでの猛進は禁物で、たとえ
 始め好調でも中途挫折に終わります。勢いに乗つて
 他事に介入したり競争に終ります。勢いに乗つて
 俠気を出して重荷を担つたり、自尊心の強さから
 思わぬ対立等も起きやすく、快調な時ほど周囲と
 の融和を心がけるべきです。失言や放言なども十
 分戒めて下さい。神経の過勞、目、心臓の疾患、
 手足の外傷等に注意。開店、開業、建築等は吉。

●吉方 壬子癸 丑良寅 甲卯乙 未坤申
 辰巽巳 庚酉辛 亥 丙午丁 未坤申
 (九) 紫相 凶 一白 六白 七赤 九紫
 大吉 三碧 四緑 二黒 五黄 八白 九紫

職 政治家、思想家、著述家、
 學者、鑑定者、教育家、画
 家、会計士、美術工芸商、
 証券業、写真家、美容師等。



一月の運勢

一年の大計を練る計
 画作りが良い時。目
 標を定めても実行の
 時ではない。雑用も
 多いが次の飛躍に備
 へ基礎作りをせよ。
 吉方 壬子癸、辰巽
 巳、乾亥

あれこれ考えて選択
 に迷うとき。利己的
 になると対立や孤立
 を招く。周囲との調
 和を忘れず、後に備
 え自己啓発に努めよ。
 吉方 なし

二月の運勢

一転して運気快調に
 滑りだし行動的とな
 るが、冷静さを忘れ
 るな。何より速度を
 出しすぎが支障を生
 ず。交際は円満に。
 吉方 戌乾

運気向上きとなり大
 いに意欲的となる月。
 神経過敏にちがちな
 勢いがちだが、
 努めて冷静が吉。体
 力より知恵で行け。
 吉方 なし

三月の運勢

今月も快速に進展す
 る月で、賢明な対応
 適切な気配りが成果
 を上げる。交渉や取
 引も好調だが、柔和
 な話し合いが肝心。
 吉方 なし

やる気があつても空
 転するとか思わぬ支
 障が生ずる月。行動
 よりも飛躍に備へ、
 計画作りや自己啓発
 が賢明。体力を養え。
 吉方 なし

四月の運勢

行動に自信と期待の
 持てる月だが、思わ
 れぬ問題が生じがち。
 何事も安全運転が大
 切で衝動的になると
 挫折す。飲食に注意。
 吉方 なし

運気好転しても甘い
 考えは不可。新事や
 大事を避けるに先立
 つな。軽率な表現を
 慎み、人脈を固め氣
 力を練るのが肝心。
 吉方 戌乾

五月の運勢

才知力量を大いに発
 揮できる盛運月。本
 命に対して全力を投
 入してよい。自己過
 信や独善を注意。人
 の和こそ大切な時。
 吉方 なし

積極的、挑戦的にな
 る月だが急進は支障
 を招く。大言せず不
 言実行で成果を得よ。
 とかく対抗的になる
 が何より和合が第一。
 吉方 戌乾

六月の運勢

運気引き続き好調だ
 が勢いに乗りすぎぬ
 事。小さな収入が失
 敗を招く。油断があ
 るが支出もある。交
 際面は慎重に行け。
 吉方 戌乾

勢いづいても落ち着
 き忘れず几帳面に雑
 事を片づけよ。人間
 関係は好調だが、拡
 大のしすぎは成果を
 失う。かぜに要注意。
 吉方 なし

七月の運勢

八月の運勢

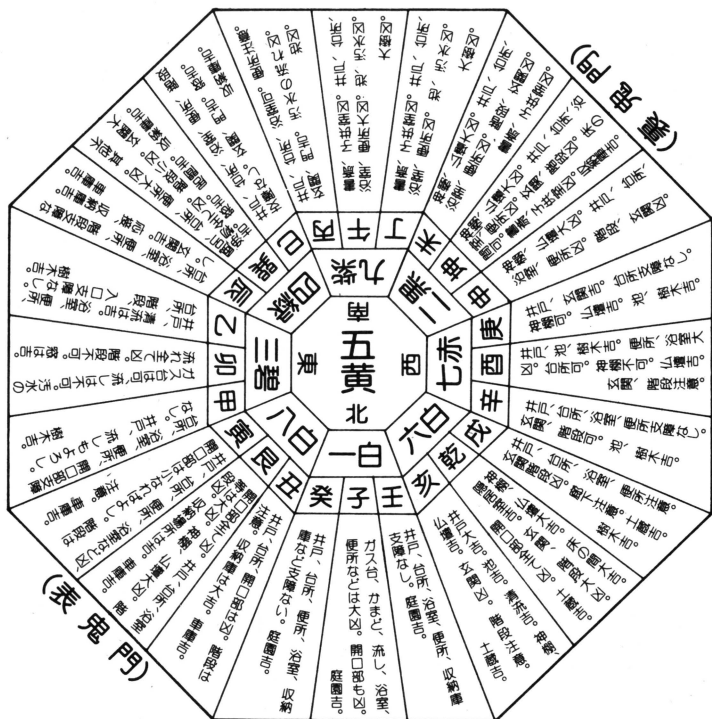
九月の運勢

十月の運勢

十一月の運勢

十二月の運勢

家相八方位吉凶一覽



家相盤の 用いかた

上図が家宅や宅地の吉凶相を鑑定するのに用いる「家相盤」です。ご覧になるとお判りのように、二十四方位に分割されており、ますので「二十四山」とも称されております。

家相盤の用い方は、まずこの図盤を家宅の中央にあたる箇所へ置き、磁石盤を用いて東西南北の位置を正確に定めます。そして図の線をまっすぐ延ばしていった延長上(区域内)にある事物と、図盤の中に記されてある説明と比較対照して吉凶を鑑定いたします。

たとえば北の正中(子の方位)に線を延ばしていったら、もしもそこに便所、流しなどの不浄所や不浄物置き場があれば、その家の主人が方災の厄難を受けると鑑定いたします。また良方(うしろ)にあたる延長線上に門があるときは、その門は古来から病門と称されて、その家には病人が絶えないと鑑定いたします。

お宅はどんなですか? この家相盤で小手調べをなさってはいかがですか?

神棚の吉凶方位

- 東方位に設けて南向き、西向きは吉。
- 東南方に設けて西北向き、西向きは吉。
- 南方位に設けて北向きはよろしくありません。東向きにするのが吉。
- 西方位に設けるのは、あまりよろしくありません。
- 西北方位に設けて南向き、東南向き、東向きは吉。
- 北方位に設けて南向き、東向きは吉。
- 西南方位、東北方位に設けるのは凶とされておりませす。

仏壇の吉凶方位

- 東方位に設けて西方位、南方位に向けるのは吉。北向きはいけません。
- 東南方位に設ける場合は、南向きとすることです。
- 南方位に設ける場合には、北方位向きに限りませす。
- 西方位に設ける場合には、東方位、南方位、東南方位に向けるのが吉。
- 北方位に設けて南向き、東向きは吉。
- 西北方位に設けて南向き、西向きは吉。
- 西南方位、東北方位に設けるのは凶とされておりませす。

柱立ての吉凶

家屋を新築する際は、まず地相学上の吉方位及び年・月の吉方を選び、さらにまた左の日取りを選んで地鎮祭並びに柱立てを執り行ないます。吉日としては、甲子・甲寅・甲辰・乙未・乙酉・戊申・庚子・庚午・庚戌・辛卯・壬子・壬寅の日があります。ただし、寅の日の三りんばうに当たる日は凶日となります。なお、吉祥になつた正しい柱立ての順序は左のとおりです。

- ※春は南から立てはじめて、東、西、北の順に立てませす。
- ※夏は北から立てはじめて、南、西、東の順に立てませす。
- ※秋は東から立てはじめて、西、北、南の順に立てませす。
- ※冬は西から立てはじめて、東、南、北の順に立てませす。

棟上げの吉日

棟上げには、左の日が上吉の日とされています。

甲子、甲辰、甲午、乙卯、乙酉、乙亥、庚子、庚辰、庚午、庚戌、辛丑、辛亥、壬申、癸巳、癸酉、癸亥、

蚕はき立ての吉凶

○蚕はき立ての吉日 戊辰・己巳・戊午・丁巳・甲寅の日がよく、また暦の中段のおさん・みつの日が大吉。●蚕はき立ての凶吉 庚申・庚戌の日は凶日。○蚕はき立ての吉方 甲・巽・坤の方位(但し本命・的殺・暗剣殺・五黄殺は除く)に向かい蚕児のはき立てをすれば大豊作。●蚕はき立ての凶方 暗剣殺・五黄殺・本命・的殺または戌・乾・亥の方向に向かい蚕児のはき立てをするのは凶。

厄除け消除法

厄年に当たつた年は病難災難が多く、病気にかかるのと重病長病になり、不時の災難、交通事故、難産流産、事業失敗等は厄年に多い。厄年とは自分の星が年盤方位図の中央、北、長・坤に位置する年で、昭和六十四年は二黒、五黄、七赤、八白の星の人(各人の星はこの暦の表紙裏の年令早見表を見れば分る)である。この厄を除くには身代り星祭を早くするがよく、不幸にも病難災難にかかつてから厄年である事が分つたら、〒213川崎市高津区下作延町・身代り不動尊大明王院(梶ヶ谷駅下車)電話川崎(044)865-1811一番に参詣するか、郵便で姓名、生年月日を明記し、三千円か特別金五千円を同封送金し、大札と厄除御守を受けるがよい。

姓名判断の仕方

姓名の吉凶を判断するには、いろいろ諸条件がありますが、その第一は文字の持つ意義であります。厄とか死といった文字が心に良い影響を与えはしません。第二に姓と名との調和であります。これには姓の画数と、名の画数との調和があり、その上に姓の音と名の音との調和があります。

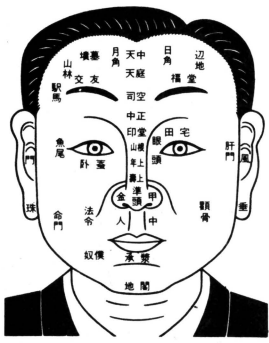
第三には、最も大切な条件である字画数であります。よく総画数だけを以て吉凶を云々する人がいますが、それよりも大切なことは、姓名全体がどのような数によって構成されているかということですから。これが姓名の吉凶の決定的条件です。

第四には先天運との調和であります。ある画数が誰にでも吉の作用をしたり、凶の作用をするものではありません。人には強過ぎたり、ある人には全く適合していないといわれるのは先天運という基準があつてのことです。

同性同名によつて運氣が違つてくるのも、生年月日の先天運と名との調和の状態がそれぞれ異なるからです。このほかに、長幼の序、たとえば兄がいるのに弟に一郎とつた長子の意の名は用いるべきでなく、また男女の区別がつかないような名前は吉作用を大きく減ずることになります。要約しますと、姓名の吉凶は数と音の調和と、先天運との調和によつて成り立つのです。

人相の見方

およそ顔面には三停・五嶽・十二宮の局部があり、天中・辺地・山林にかけて骨秀で肉豊潤であれば志望成就するの相であり、疵や血色悪ければ災厄を招く。天庭・司空・中正から日角・馭馬・福堂・交友・一帯が肉豊かに血色良ければ幸福の時で、血色悪き時は健康に要注意。印堂・山根・年上・寿上・準頭に疵があるか血色が悪い時は不運でもあり病弱でもあるから養生が大切。卧蚕・田宅に疵黒子があれば家庭不安定で、ここがふつくと肉整つておれば幸福。肝門・魚尾に美色現われた時は心操に乱れ生じ、人中に疵黒子あるのは子孫なく、承漿・地閣が豊満の人は幸運の相であると判断します。



手相の見方

小指の下部から中指、人差指の間に向かつて走っている湾曲の横紋を天紋といひ、この紋が整然と乱れなく明らかなのは職業、営業に成功する相です。親指、人差指の間に達する紋を地紋といい、寿命の根本はこの紋が長く、短い人は短命の相です。地紋から別れて天紋と地紋の間を長く走るのを人紋といい、この紋の先端が小指の方に上向いている人は感情豊かで常識円満、身上安定の相です。人紋の先端が下向きに流れている人は精神安定を欠き、常に不安であり、運命変化の多い人です。なお掌の中央部の明堂が紅潤色をしているのは吉相で、青色、暗色がただよっているのは凶相と判断します。



○姓名判断、人相、手相の見方

勝負事に勝つ法

●勝負事、掛け合いに勝つ法として、古来から次のような方法があります。これはまず破軍星を求め、この破軍星を常にうしろにして賭け事、諸相場、掛け合の事をすれば勝つという方法です。

●破軍星の求め方は、まず勝負をしようとする時刻にあたる十二支を甲図で求め次に、勝負する月(必ず旧暦による)に対する繰り数を乙表で求めます。

●甲図で求めた十二支から、乙表で求めた繰り数だけ右回り(丑寅卯辰…の順に数えてきまる十二支が求める方位です。

●ただし、時刻は午前と午後によって干支が異なつてきますからご注意ください下さい。これは、子の中央から右回りに丑寅

甲 図



乙 表

一ツ目	九ツ目	五ツ目	正 月
二ツ目	十ツ目	六ツ目	二 月
三ツ目	十一ツ目	七ツ目	三 月
四ツ目	十二ツ目	八ツ目	四 月
			五 月
			六 月
			七 月
			八 月
			九 月
			十 月
			十一 月
			十二 月

卯辰巳…の順に数え、午の中央までを午前とし、残りを午後とします。

●例えば、旧正月のある日の午後四時に勝負するときは、午後四時を目安にして申ときめ、次に正月を目安にして乙表から繰り数五ツ目を求め、申から右回りに五ツ目、すなわち子の方位を求め知るといわけで、ここが破軍星の方位となります。この方法で用いる月は旧暦です。

家庭祝儀・法事

〔祝儀〕 ●岩田帯 妊娠五カ月目の戌の日、七尺五寸三分の晒木綿か白綿ネルに「寿」の字を書いて腹に巻く。 ●お七夜 生後七日目、命名披露 ●お宮参り 男児三十一日目、女児三十三日目 ●お食初め 生後百二十日目、御飯をたべるまねをする ●初誕生日 出生時の体重の三倍、身長が五割増しになったら標準発育 ●初節句 女児は三月三日、男児は五月五日 ●七五三 男児は三歳

と五歳、女児は三歳と七歳の十一月十五日 ●成人式 男女共に満二十歳の一月十五日 ●紙婚式 結婚後満一年目 ●木婚式 結婚後満五年目 ●錫婚式 結婚後満十年目 ●銀婚式 結婚後満二十年目 ●金婚式 結婚後満五十年目

●還暦祝 満六十歳 ●古稀祝 七十歳 ●喜寿祝 七十七歳 ●傘寿祝 八十歳 ●米寿祝 八十八歳 ●卒寿祝 九十歳 ●白寿祝 九十九歳

〔法事〕 ●初七日 (死亡日から数えて七日目)、 ●二七日 (死亡日から数えて十四日目)、 ●三七日 (死亡日から数えて二十一日目)、 ●三十五日、 ●四十九日、 ●百か日、 ●一周忌 (死後満一年目の忌日)、 ●三回忌 (死後満二年目の忌日) ●七回忌 (死後満六年目の忌日)、 ●十三回忌、 ●十七回忌、 ●二十三回忌、 ●二十七回忌、 ●三十三回忌、 ●三十七回忌 ●五十回忌、 ●百回忌

今年の年忌一覧

一周忌	昭和三年	廿回忌	昭和六年
三回忌	昭和五年	廿回忌	昭和三年
七回忌	昭和八年	廿回忌	昭和六年
廿回忌	昭和二年	廿回忌	昭和五年
廿回忌	昭和二年	百回忌	明治三年

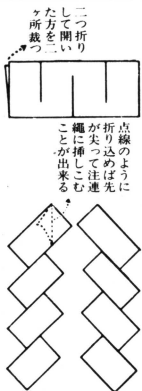
一代守本尊

- 子年生の人 千手観音菩薩
- 丑年生の人 虚空蔵菩薩
- 寅年生の人 盧舍那菩薩
- 卯年生の人 文珠菩薩
- 辰年生の人 普賢菩薩
- 巳年生の人 普賢菩薩
- 午年生の人 勢至菩薩
- 未年生の人 大日如来
- 申年生の人 不動明王
- 酉年生の人 八幡大菩薩
- 戌年生の人 八幡大菩薩
- 亥年生の人 八幡大菩薩

一月一日ついでに、一年休みの下、本尊の送料込み。守まじうお申代しうお製頒記添館でこを1000円を性別を60円

紙垂の切り方

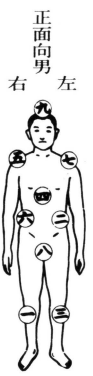
○紙垂(しで)は主連繩・玉串・輪飾りなどに垂れ下げるもので、一般に用いられる三刀四垂れ切りを图示いたします。
 ○用紙は奉書・美濃紙・半紙などなんでも差しつかえありません。用紙を二枚重ね、二つ折りとし、三刀四垂れに切り、それを内側に折ればでき上がります。



六三除け

●医薬の効き目がなく、うっとおしく長引きがちの病気の場合は、古来から六三にかかっていることが多いものです。
 ●六三にかかっているかどうかを知る方法は、病気にかかった時の自分の数え年を九で割ります。たとえば数え年三十一で判断します。たとえば数え年三十一で発病した人なら、三十一を九で割ると四が残ります。そこで左図を見ますと、四は胸・腹部に当たります。もしもその人の病気が胸か腹部であれば、その人は六三にかかっているわけです。九で割り切れる時は九でもって判断いたします。
 ●秘法六三除け希望の方は、生年月日、病状、氏名、男女別、発病時期を記入し、祈禱料六千円を添えてお申込み下さい。祈禱を執行した上で御札をお送りします。

〒110 東京都台東区東上野一丁目一番四号 神宮館 鑑定部

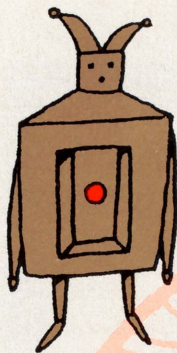


○女の人には男の人と右左が逆になります
 女 ⑤左肩 ⑥左脇腹 ⑦左足 ⑧右肩 ⑨右脇腹 ⑩右足

通信鑑定

- 本年の運勢 一人に付 二万円
- 家相鑑定 一件(平家)に付 三万円以上
- ※一・三階の場合は増額。
- 移転・建築(時期・方位) 一件一人二万円
 家相図に南・北方位を明示のこと。
 現住所と移転先を記した一枚地図を同封、家族の生年月日を明記(二名増ごとに二万円)
- 産 命 命 一名に付 三万円
 誕生の年・月・日・時・性別及び両親兄弟姉妹の氏名・生年月日・職業等を明記。
- 改 屋号・商号 一名に付 三万円
 業務種別、店主名・生年月日など明記。
- 会 社 社 一名に付 十万円
 業務種別、社長名・生年月日など明記。
- 縁 談 一件に付 三万円
 男女各々の氏名・生年月日・職業を明記。
- 方 災 除 け(旅行・転勤・移転) 八千円
 犯した方位・日時・当人の生年月日明記。
- 家 相 八 方 除 け 八千円以上
 家相図に南・北方位を明示し、家族全員の名・生年月日・性別を明記のこと。
- 病 災 除 け 八千円

※直接鑑定をご希望の方は、電話でご予約下さい。鑑定料は、通信鑑定の料金と異なる場合もあります。
 〒110 東京都台東区東上野一丁目一番四号 神宮館 鑑定部 平木場 泰義



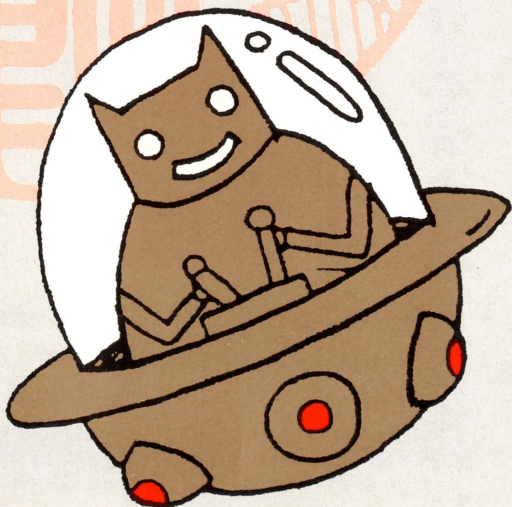
このたびはインダクション・プロデュースのファミリー・コンピュータ用カセット「'89電脳九星占い」をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に取扱い方、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。

なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

〈使用上の注意〉

- ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。
- テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。
- 長時間ゲームをする時は、健康のため、約2時間ごとに10分～15分の小休止をしてください。
- 精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。
- 端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにしてください。故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないでください。



MADE IN JAPAN

東京
神宮
館



〈発売元〉インダクション・プロデュース株式会社

〒156 東京都渋谷区渋谷3-3-10

〈販売元〉ビクター音楽産業株式会社

© JINGŪKAN-POLARIS Inc.

ファミリーコンピュータ・ファミコン は任天堂の商標です。